



発送と郵便業務  
封入封かん機

# Relay<sup>®</sup> 2500/3500/4500

インサーターシステム

## ユーザーガイド

日本語版  
SV63298-JA 改訂版 B  
2018 年 12 月 3 日

©2018 年 Pitney Bowes Inc.

All rights reserved. Pitney Bowes の書面による明示的な許可がない限り、本書の一部または全部をいかなる方法においても複製することはできず、いかなる情報検索システムに保存することも、また、電子的または機械的を問わずいかなる方法においても伝送することはできません。

Pitney Bowes 機器でのお客様のトレーニング以外の目的で受領者またはその他の者が本情報を利用することは、Pitney Bowes の知的財産権の侵害に当たる可能性があり、Pitney Bowes はそのような情報の利用に関して一切の責任を負いません。

当社は、本マニュアルの正確性と有用性を確保するためにあらゆる妥当な努力を行っています。しかし、自社製品の欠陥や、誤用または不正使用による損害に対し、当社は責任を負いかねます。

Pitney Bowes の役員が正式に署名した書面によって提供されている場合を除き、本情報の提供により、明示と黙示の別を問わず、Pitney Bowes または第三者のいかなる特許、著作権、またはその他の知的財産権のライセンスも付与されることはありません。

本ガイドは、Relay® 2500/3500/4500 インサーターシステムに関する適切なセットアップ、操作、トラブルシューティング、基本メンテナンスの作業を支援することを目的としています。

## バージョン履歴

ドキュメント部品番号	リリース日	コメント
SV63298 改訂版 A	2018 年 10 月 1 日	素案
SV63298 改訂版 B	2018 年 12 月 3 日	初回リリース

このページは意図的に空白になっています。



## 1 – 安全性

---

安全性に関する情報	2
警告ラベルと注意事項	4

## 2 – 製品の概要

---

製品の概要	6
Relay インサーター – コンポーネントの概要	8

## 3 – タッチスクリーンの使用

---

タッチスクリーンをオンにする	12
タッチスクリーンのナビゲーション	13
タッチスクリーンキーボードの使用	18
タッチスクリーンの表示言語の変更	19
ログイン	20
オペレーターのユーザー名とパスワードの管理	21
既存ジョブ名の変更	24

## 4 – 製品の概要

---

スキャンジョブのプログラミング	27
ジョブ設定の開始	28
ジョブの選択	30
スキャンの有効化 (OMR オンまたはバーコード)	31
折りタイプの設定	32
メインスキャンシートフィーダーの設定	33
第 2 (補助) シートフィーダーの設定	34
インサートフィーダーの設定	35
シーラーの設定	36

用紙の長さの設定	37
折り A の設定	38
折り B の設定	39
封筒の縦の設定	40
封筒停止の設定	41
バッチカウンターの設定	42
ジョブ設定の確認	43
トライアルの実行	44
スキャン以外のジョブのプログラミング	47
ジョブ設定の開始	48
ジョブの選択	50
スキャンの無効化	51
折りタイプの設定	52
蓄積オプションの設定	54
メインシートフィーダーの設定	55
第 2 (補助) シートフィーダーの設定	57
インサートフィーダーの設定	58
モードタイプの設定 – 封入または折りのみ	59
シーラーの設定	60
用紙の長さの設定	61
折り A の設定	62
折り B の設定	63
封筒の縦の設定	64
封筒停止の設定	65
バッチカウンターの設定	66
ジョブ設定の確認	67
トライアルの実行	68
既存ジョブの変更	71
ジョブの削除	72

## 5 – ジョブの実行

---

ジョブの実行	74
インサーターの電源を入れる	75
タッチスクリーンをオンにする	76
ログイン	77
実行するジョブの選択	78
シートフィーダーのセット	79
標準封筒フィーダーのセット	83
大容量封筒フィーダーのセット	85
インサートフィーダーのセット	89
トライアルの実行	93
インサーターの開始と停止	96
封かん液の追加	97
ドロップスタッカーの調整	98

## 6 - OMR スキャン

---

光学的マーク認識 (OMR) スキャンについて	100
OMR スキャンとフィーダー	101
OMR スキャンタイプについて	102
OMR スキャンマークについて	103
OMR の仕様	108
標準の OMR 位置 - 図	109
OMR スキャンヘッドの調整	110
OMR スキャンのエラーメッセージ	113

## 7 - バーコードスキャン

---

バーコードスキャンについて	116
2D バーコードデータについて	117
バーコードスキャンの仕様	120
バーコードの配置について	122
バーコードカメラの調整	125

バーコードスキャンのエラーメッセージ	126
--------------------	-----

## 8 - エラーリカバリーと紙詰まりの解消

---

蓄積ジョブ - エラーリカバリー	128
空のフィーダー - エラーリカバリー	129
OMR メッセージ - エラーリカバリー	130
書類の紙詰まりの解消	131
シートフィーダーの紙詰まりの解消	132
紙折りプレートの紙詰まりの解消	135
インサートトレイの紙詰まりの解消	138
キャリッジアセンブリの紙詰まりの解消	141
封筒フィーダー一部の紙詰まりの解消	144
封筒出口部の紙詰まりの解消	147
封筒封入および封かん部の紙詰まりの解消	150
蓄積エリアの紙詰まりの解消	153

## 9 - レポート

---

レポートについて	158
スキャンジョブ用レポートの生成	159
ジョブの生産性レポートの生成	161

## 10 - トラブルシューティング

---

タッチスクリーンおよびインサーターの問題のトラブルシューティング	164
封筒に関する問題のトラブルシューティング	165
シートに関する問題のトラブルシューティング	166
インサートの問題のトラブルシューティング	167

二重検知の問題のトラブルシューティング	168
エラーメッセージ	169

## 11 – 仕様

---

マテリアルの仕様	174
インサーターの仕様	180

# 1 – 安全性

## セクションの内容

---

安全性に関する情報	2
警告ラベルと注意事項	4

## 安全性に関する情報

インサーターシステムを使用する場合は、次の使用上の注意を守ってください。

### 一般的な電源に関する安全性

- システムは、利用しやすい壁コンセントの近くに設置してください。
- システムは、適度な通気が得られ、点検のしやすい場所に設置してください。
- この機器に付属の AC 電源アダプターを使用してください。純正以外の AC アダプターを使用すると、機器が損傷する場合があります。
- AC アダプターは、機器の近くにあり、適切に接地された、利用しやすい壁コンセントに直接差し込んでください。機器を適切に接地しないと、重大な人身傷害や火事の原因となることがあります。
- AC 電源からこの機器を遮断する場合は、必ず AC アダプター(電源コード)のプラグを抜いてください。
- 壁面スイッチで操作する壁コンセントや他の機器と共有する壁コンセントは使用しないでください。
- 電源コードまたは壁コンセントにアダプタープラグを使用しないでください。
- 電源コードの接地ピンを外さないでください。
- AC アダプターの電源コードを先の尖ったものの上に這わせたり、家具の間に挟まらないようにしてください。電源コードが張りすぎないようにしてください。
- ユニットが損傷した場合は、プラグをコンセントから抜いてください。

### 操作

- トレーニングを受けた対象者のみがこの装置を操作できます。トレーニングには、通常の条件下と緊急事態での操作手順が含まれている必要があります。
- 本機を操作する前に、すべての指示をお読みください。
- この機器は本来の目的以外に使用しないでください。
- 指、ゆったりした衣服、アクセサリー、長い髪、ネクタイなどを可動部に近づけないでください。
- 機械の使用中は、可動部分または材料に触れないでください。紙詰まりを除く前に、機械の動きが完全に停止していることを確認してください。
- 紙詰まりした材料は、ゆっくりと慎重に取り除いてください。

- カバーを取り外さないでください。カバーの中には危険な部品が入っており、所定の訓練を受けたサービス担当者以外は触れることができません。
- 火を点けたキャンドルや煙草などをシステムの上に置かないでください。
- 過熱を防ぐために、通気口を塞がないでください。
- 必ず、御社の労働安全衛生基準に従ってください。
- この機器を取り付けたメインのインサーター機器を操作する前に、メインの機器が適切に準備され、他の作業員がインサーターの近くにいないことを確認してください。
- コンポーネントが破損した場合や機能しない場合は、ただちにサービス担当者にご連絡ください。

## メンテナンス

- 定期的な点検をせずにこの機器を運転すると、最適な運転性能が得られず、機器の機能不良の原因となることがあります。
- 許可されたサプライ品のみを使用してください。
- 火事や感電の危険を減らすために、カバーを外したり、コントロールパネルまたはその基盤を分解したりしないでください。危険な部分はキャビネット内に収納されています。
- 不適切な保管状態、およびスプレー式ダスターや可燃性のスプレー式ダスターの使用は、爆発しやすい状態の原因となり、けがや物的損害が発生する場合があります。スプレー式ダスターを使用する場合は、容器のラベルに記載されている指示や安全注意事項を必ずお読みください。
- 以下の場合は販売元にご連絡ください。
  - サプライ品が必要な場合
  - マテリアルデータ安全シートが必要な場合
  - 本体が破損した場合

## スタッカーに AC アダプターが付属している場合：

- この機器に付属の AC 電源アダプターを使用してください。純正以外の AC アダプターを使用すると、機器が損傷する場合があります。
- 感電を防ぐために、AC アダプターの電源コードは接地された壁側のプラグに差し込んでください。
- AC アダプターの電源コードを鋭い縁の上や家具の間に配線しないでください。電源コードが張りすぎないようにしてください。

## 警告ラベルと注意事項

Pitney Bowes は、以下の指示事項に明示的には述べられていない場合であっても、取り扱い、操作運用、または修理に関する以下の予防措置の不履行に起因して発生した物的損害または身体傷害に対し、いかなる責任も負いません。



### 注意：

可動部の機構は人身障害の原因となるおそれがあります。手、長い頭髪、ネクタイ、アクセサリー、ゆとりのある衣服は、可動部分から離すようにしてください。

## 2 - 製品の概要

### セクションの内容

---

製品の概要	6
Relay インサーター - コンポーネントの概要	8



## 製品の概要

このセクションでは、3種類の Relay インサーターモデル (Relay 2500、Relay 3500、Relay 4500) のハードウェアコンポーネントおよび機能の概要を説明します。

すべての Relay モデルは、折り加工前蓄積モジュールを備えています(このモジュールは機械の上部カバーの下に配置されています)。折り加工前蓄積の機能により、郵便物を集積したうえで折り加工を行うことができ、1回の操作ですべてを処理できます。このモジュールはどの折りタイプに対しても同様に機能します。

### Relay モデルの比較 - ハードウェア

コンポーネント	Relay 2500	Relay 3500	Relay 4500
シートフィーダー	1	2	2
封筒フィーダー	トレイ方式(1)	トレイ方式(1)	エレベータ方式(1)
インサートフィーダー	1	1	1
オペレーター向け統合型タッチスクリーン*	はい	はい	はい

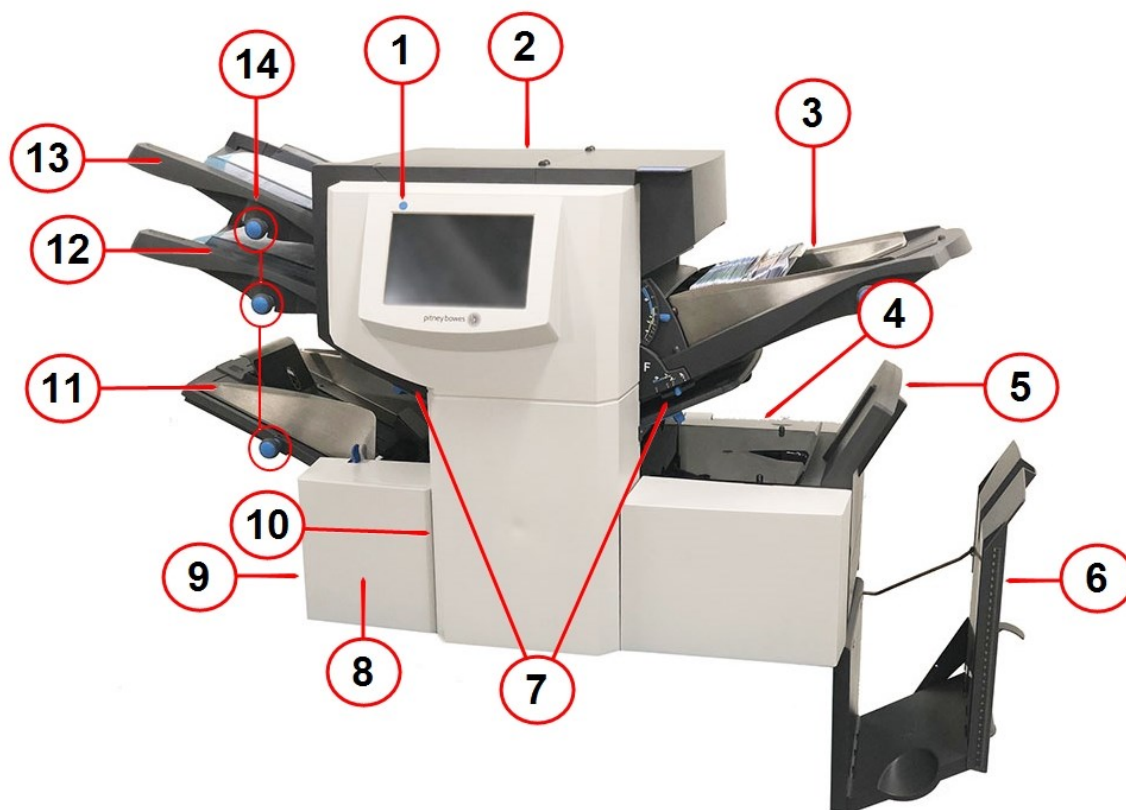
\*このタッチスクリーンは Wi-Fi 対応デバイスです。このネットワーク接続機能をご使用になる場合には、お客様の責任で IT 部門の基準に準拠した設定を行ってください。

## 製品の機能

Relay 2500/3500/4500 のすべてのモデルに以下の機能とオプションが用意されています。

- 折り加工前蓄積(上部カバー下の機械上部に配置)
- 2D バーコードスキャン(オプション)
- OMR(光学的マーク認識)スキャン(オプション)
- 封かん-セーフシール(封筒の完全な封かんに対応)および封かんなしオプション
- 折りオプション-二つ折り、C 折り、Z 折り、二重折り
- 紙折りのみオプション(紙折りのみ、封入なし)
- シートフィーダーによるマテリアルの自動仕分け
- 紙折りプレートの自動設定
- 封筒の自動仕分け
- 二重文書の自動検知(選択した場合)
- 1 枚および複数枚の丁合の手動フィード、半自動封入
- ジョブ再使用機能

## Relay インサーター – コンポーネントの概要



Relay 3500 インサーター (Relay 4500 上、電源スイッチと調整つまみはフロントパネルに配置)

項目	説明	項目	説明
1	タッチスクリーンの電源ボタン	8	手動搬送つまみ*
2	蓄積エリア*	9	電源スイッチ*
3	インサートフィーダー	10	計測スケール*
4	シーラーボトル**	11	封筒フィーダー
5	封筒インバーター	12	シートフィーダー2
6	ドロップスタッカー***	13	シートフィーダー1
7	紙折りプレート1 および 2	14	サイドガイドの調整つまみ

\*この画像には写っていません

\*\*インサーターの背面にあります

\*\*\*DIVS(文書インサーター縦型スタッカー)パワースタッカーオプションを使用可能

## コンポーネントの説明

- **タッチスクリーンの電源ボタン** - タッチスクリーンをオンにします。このタッチスクリーンは、コマンドの入力、ジョブの設定、設定の変更を行うための統合型インターフェイスになっています。ディスプレイに表示されるアイコンは、システムのステータスを示します。
- **蓄積エリア** - 折りの前に丁合の済んだものを蓄積します。
- **インサートフィーダー** - 封筒にインサートを追加します。このフィーダーからフィードしたマテリアルは、インサーターで折ることができません。このフィーダーは、折り済みインサートまたは厚手のインサートのフィードに特に適しています。
- **シーラーボトル** - シーラーに封かん液を提供します。右側にあるインサーターの背面、ヒンジ付きカバーの下にあり、シーラーアイコンのラベルが付いています。
- **封筒インバーター** - 印刷面を上にして封筒をスタッカーに搬送します。
- **ドロップスタッカー** - 標準のスタッカーです。インサーターの出口側にあり、完成した郵便物を収集します。この装置は、使用していないときにはインサーターに掛けておくことができます。標準のドロップスタッカーよりも容量が大きいパワースタッカーも用意されています。
- **紙折りプレート 1 および 2** - シートフィーダーからフィードされたマテリアルを目的に合わせて折ることができます。紙折りプレートは、タッチスクリーンから自動的にセットされます。
- **手動搬送つまみ** - インサーターの構造を手動で回し、マテリアルを取り除きます。このつまみは、インサーターの前方左下隅にあるカバーの下にあります。
- **電源スイッチ** - インサーターの電源をオンまたはオフにします (*Relay 4500 のフロントパネルにあります*)。
- **計測スケール** - マテリアルや封筒を計測するのに使用します。インサーターの左側のシートフィーダー付近にあります。
- **封筒フィーダー** - 封入エリアに封筒をフィードします。封入エリアでは、他のフィーダーから要求されたマテリアルが封筒に封入されます。
- **シートフィーダー 2** - 紙折りが必要なマテリアルをフィードします。このフィーダーの機能はシートフィーダー 1 の機能に似ています。ただし、このフィーダーには、手動フィードオプションは指定できません。
- **シートフィーダー 1** - 紙折りが必要なマテリアルをフィードするためのフィーダーです。
- **サイドガイドの調整つまみ** - 封筒フィーダーのサイドガイドを調整します (*Relay 4500 のフロントパネルにあります*)。

## オプションの DIVS (文書インサーター縦型スタッカー) - パワースタッカー

一部の Relay インサーターには、インサーターの出口部に取り付ける、オプションの縦型パワースタッカーが用意されています。封筒は縦方向に重なり合う形で、最も新しいものが最下部に格納されます。これにより、完成した郵便物は処理されたときと同じ順序で保持されます。



# 3 – タッチスクリーンの使用

## セクションの内容

---

タッチスクリーンをオンにする	12
タッチスクリーンのナビゲーション	13
タッチスクリーンキーボードの使用	18
タッチスクリーンの表示言語の変更	19
ログイン	20
オペレーターユーザー名とパスワードの管理	21
既存ジョブ名の変更	24

## タッチスクリーンをオンにする

タッチスクリーンをオンにする前に、インサーターの電源が入っていることを確認します。

1. **オン/オフ電源ボタン**は、タッチスクリーンの左上にあります。タッチスクリーンをオンまたはオフにするには、電源ボタンを数秒間長押しします。



**オン/オフ電源ボタン**

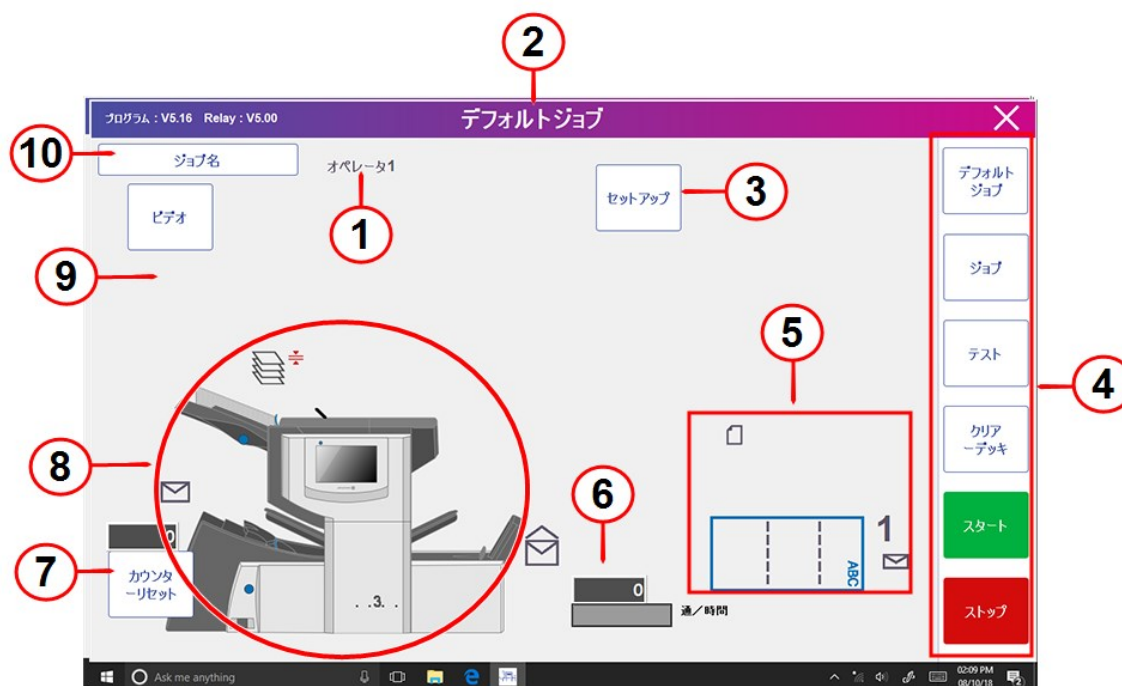
---

注: タッチスクリーンがスリープモードになっている場合は、オン/オフボタンを軽く押してください。

---

## タッチスクリーンのナビゲーション

統合型タッチスクリーンを使って、ジョブをセットアップしたり実行したりすることができます。このセクションでは、主要なタッチスクリーン要素の基本的な概要を説明します。



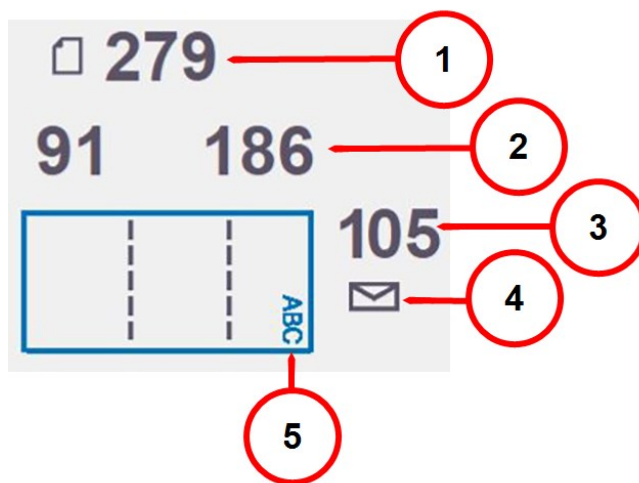
### 統合型タッチスクリーン

項目	説明	項目	説明
1	オペレーター名	6	速度インジケータ
2	ジョブ名	7	カウンターリセット
3	セットアップボタン	8	インサーターモデル
4	メニュー	9	ジョブオプションおよびシステムメッセージ
5	用紙エリア	10	ジョブ名ボタン



## タッチスクリーンの説明

- **オペレーター名** - ログインしているオペレーターです
- **ジョブ名** - ここにジョブ名が表示されます
- **[Setup(セットアップ)]** - タップするとセットアップモードになり、ジョブをプログラミングしたり、既存ジョブのオプションを変更したりできます
- **メニュー** - ジョブの選択、トライアルの実行、インサーターの開始と停止、デッキクリアを行うための一連のボタンがあります
- **マテリアルセットアップエリア** - 各種アイコンと数値を使ってマテリアルの詳細情報(用紙サイズ、シートフィーダーの折りセット、封筒の縦の長さ、住所の向き)を表示します



項目	説明	項目	説明
1	用紙の長さ(mm)	4	封筒の開閉状態
2	折り線(mm)	5	住所の向き
3	封筒の縦の長さ(mm)		

- **速度インジケータ** - 1時間あたりに作成される郵便物の数です
- **[Reset Counter(カウンターリセット)]** - タップすると、アイテムのカウンターがリセットされます。カウンターの値は完成した郵便物が排出されるたびにカウントアップされます
- **インサーターモデル** - インサーターを視覚的に表現しています
- **ジョブオプションおよびシステムメッセージ** - ジョブオプションやシステムエラーまたはメッセージを表

示します

- [Name of jobs (ジョブ名)] - タップするとジョブ名の変更画面が表示されます

## タッチスクリーンアイコン

以下のアイコンは、ジョブをセットアップしたり実行したりする際のガイドとして役立ちます。これらのアイコンは、封筒の仕様、折りタイプ、システムステータスおよびメッセージ、紙詰まり、その他のジョブ設定を示します。

アイコン	説明
	二重検知がオンになっていることを示します (二重検知機能は、同時に 2 枚以上のシートがフィードされるとインサーターを停止します)
	手動フィードを示します (手動フィード用のフィーダーセットの横にアイコンが表示されます)
	シートフィーダーが使用中であることを示します (フィーダーが未使用の場合、アイコンは表示されません)
	インサートフィーダーが使用中であることを示します (フィーダーが未使用の場合、アイコンは表示されません)
	シートの順序と数量 (フィーダー内のシートの順序とそのフィーダーから蓄積されたシートの数) を示します
	このアイコンは、セットアップ処理のガイドとしてプログラミングまたは変更している設定の横に表示されます
	シーラーボトルの補充が必要な場合は点滅します
	シーラーユニットがオフである (封筒は封かんされない) ことを示します
	シーラーユニットがオンである (封筒は自動的に封かんされる) ことを示します

アイコン	説明
	<p>第 1 住所シートがないことを示します</p>
	<p>第 1 住所シートが印刷面を上にして上部に置かれていることを示します</p>
	<p>第 1 住所シートが印刷面を下にして底部に置かれていることを示します</p>
	<p>C 折りが選択されていることを示します</p>
	<p>Z 折りが選択されていることを示します</p>
	<p>二重折りが選択されていることを示します</p>
	<p>二つ折りが選択されていることを示します</p>
	<p>警告シンボルがインサートモデル上に表示され、マテリアルが停止したことを示します。シンボルの位置は、停止が発生した場所を示します</p>

## タッチスクリーンキーボードの使用

### キーボードの起動

- テキストを入力するためにテキストフィールドをタップすると、キーボードが自動的に表示されます。

### キーボードの終了

- キーボードの [Enter] (矢印) キーをタップすると、キーボード表示が消えます。



## タッチスクリーンの表示言語の変更

タッチスクリーンに表示される言語を英語以外の言語に変更できます。

1. タッチスクリーンのデスクトップで**インサーターアイコン**をダブルタップします。
2. [Operator List(オペレーターリスト)]が表示されたら、該当するオペレーターの**チェックマーク**をタップします。
3. メニューバーから、[Language(言語)] > [Program(プログラム)]を選択します。使用可能な言語に対応する国旗を表示する画面が開きます。
4. タッチスクリーンで表示したい言語を示す国旗をタップします。国旗の画面が自動的に閉じられ、新しい言語が表示されます。
5. **チェックマーク**をタップします。
6. パスワードを使ってログインするか、[X]をタップして終了します。

## ログイン

1. タッチスクリーンのデスクトップで**インサーターアイコン**をダブルタップします。
2. オペレーターのリストのダイアログが表示されたら、オペレーターをハイライト表示にして**チェックマーク**をタップします。
3. **[Password(パスワード)]**フィールドをタップします。キーボードが表示されたら、パスワードをフィールドに入力します。
4. **チェックマーク**をタップしてログインします。

## オペレーターユーザー名とパスワードの管理

Relay システムには、一連のオペレーターユーザー名およびパスワードが用意されています。これらのデフォルトユーザー名およびパスワードは、オペレーターごとに固有のものに変更することができます。最大 10 名のオペレーターをタッチスクリーンにプログラミングできます。

### デフォルトのオペレーターユーザー名およびパスワード

システムでデフォルトユーザー名およびパスワードを変更する場合は、以下の情報を参照してください。

#### デフォルトのオペレーターユーザー名

ユーザー名	パスワード	ユーザー名	パスワード
Operator 1	MDP1	Operator 6	MDP6
Operator 2	MDP2	Operator 7	MDP7
Operator 3	MDP3	Operator 8	MDP8
Operator 4	MDP4	Operator 9	MDP9
Operator 5	MDP5	Operator 10	MDP10

---

注: スーパーバイザーのパスワードは 71 です。

---

### オペレーターユーザー名の作成 (デフォルトユーザー名の変更)

デフォルトのオペレーターユーザー名を変更して、実際のユーザー向けにカスタマイズすることができます。

1. タッチスクリーンのデスクトップで **インサーターアイコン** をダブルタップします。
2. オペレーターのリストのダイアログが表示されたら、名前を変更するデフォルトオペレーター (Operator 1 ~ Operator 10 のいずれか) をハイライト表示にします。
3. **チェックマーク** をタップします。
4. **[Password (パスワード)]** フィールドをタップします。キーボードが表示されたら、スーパーバイザーのパスワード (71) またはデフォルトオペレーターのパスワードをフィールドに入力します。



5. メインメニューバーから、[File(ファイル)] > [Operators(オペレーター)] > [Change(変更)]を選択します。
6. [New Name(新しい名前)]フィールドをタップし、タッチスクリーンのキーボードを使用して新しいオペレーター名を入力します。
7. チェックマークをタップしてログインするか、[X]をタップして終了します。

## オペレーターパスワードの変更

1. タッチスクリーンのデスクトップでインサーターアイコンをダブルタップします。
2. オペレーターのリストのダイアログが表示されたら、オペレーターをハイライト表示にしてチェックマークをタップします。
3. [Password(パスワード)]フィールドをタップします。キーボードが表示されたら、現在のオペレーターパスワードをフィールドに入力します(チェックマークをタップしないでください)。
4. メニューバーから、[File(ファイル)] > [Password(パスワード)] > [Change(変更)]を選択します。
5. [New Password(新しいパスワード)]フィールドをタップし、新しいパスワードを入力します。
6. [Confirm(確認)]フィールドをタップし、新しいパスワードをもう一度入力します。
7. チェックマークをタップしてパスワードを適用します。
8. チェックマークをタップしてログインするか、[X]をタップして終了します。

## 失われたパスワードの復元

これはスーパーバイザーの仕事です。

1. タッチスクリーンのデスクトップでインサーターアイコンをダブルタップします。
2. オペレーターのリストのダイアログが表示されたら、パスワードがわからなくなったオペレーターをハイライト表示にしてチェックマークをタップします。
3. [Password(パスワード)]フィールドをタップします。キーボードが表示されたら、スーパーバイザーパスワード(71)をフィールドに入力します(チェックマークをタップしないでください)。
4. メインメニューバーから、[File(ファイル)] > [Password(パスワード)] > [Recover(復帰)]を選択します。復元されたパスワードがダイアログボックスに表示されます(今後の参照のために、パスワードを記録しておいてください)。
5. [OK]をタップして、ダイアログボックスを閉じます。

6. 復元されたパスワードを[Password(パスワード)]フィールドに入力します。
7. チェックマークをタップしてログインするか、[X]をタップして終了します。

## 既存ジョブ名の変更

既存のジョブに新しい名前を割り当てることができます。

1. タッチスクリーンのデスクトップで**インサーターアイコン**をダブルタップします。
2. オペレーターのリストのダイアログが表示されたら、名前を変更するデフォルトオペレーター (Operator 1 ~ Operator 10 のいずれか)をハイライト表示にします。
3. **チェックマーク**をタップします。
4. **[Password(パスワード)]**フィールドをタップします。キーボードが表示されたら、スーパーバイザーのパスワード(71)またはオペレーターのパスワードをフィールドに入力します。
5. **チェックマーク**をタップします。
6. **[Name of jobs (ジョブ名)]**ボタンをタップします。
7. **[Name of jobs (ジョブ名)]**リストが表示されたら、ジョブをハイライト表示にして、**[Change(変更)]**をタップします。
8. **[Name of jobs (ジョブ名)]**フィールドをタップし、新しいジョブ名を入力します。
9. **チェックマーク**をタップして新しいジョブ名を適用します。
10. **チェックマーク**をタップしてログインするか、**[X]**をタップして**[Name of jobs (ジョブ名)]**ウィンドウを閉じます。

# 4 – 製品の概要

## セクションの内容

---

スキャンジョブのプログラミング	27
ジョブ設定の開始	28
ジョブの選択	30
スキャンの有効化 (OMR オンまたはバーコード)	31
折りタイプの設定	32
メインスキャンシートフィーダーの設定	33
第 2(補助)シートフィーダーの設定	34
インサートフィーダーの設定	35
シーラーの設定	36
用紙の長さの設定	37
折り A の設定	38
折り B の設定	39
封筒の縦の設定	40
封筒停止の設定	41
バッチカウンターの設定	42
ジョブ設定の確認	43
トライアルの実行	44
スキャン以外のジョブのプログラミング	47
ジョブ設定の開始	48
ジョブの選択	50
スキャンの無効化	51
折りタイプの設定	52
蓄積オプションの設定	54
メインシートフィーダーの設定	55
第 2(補助)シートフィーダーの設定	57
インサートフィーダーの設定	58
モードタイプの設定 - 封入または折りのみ	59
シーラーの設定	60

用紙の長さの設定	61
折りAの設定	62
折りBの設定	63
封筒の縦の設定	64
封筒停止の設定	65
バッチカウンターの設定	66
ジョブ設定の確認	67
トライアルの実行	68
既存ジョブの変更	71
ジョブの削除	72

## スキャンジョブのプログラミング

スキャンジョブをプログラミングするには、次の手順に従います。さまざまなジョブ設定に移動していると、処理のガイドとなる星形アイコンがプログラミングしているエリアの横に表示されます。

- ログイン
- ジョブ設定の開始
- ジョブの選択
- スキャンの有効化 (OMR オンまたはオフ)
- 折りタイプの設定
- メインスキャンシートフィーダーの設定
- 第2シートフィーダーの設定
- インサートフィーダーの設定
- シーラーの設定
- 用紙の長さの設定
- 折りAの設定
- 折りBの設定
- 封筒の縦の設定
- 封筒停止の設定
- バッチカウンターの設定
- ジョブ設定の確認
- トライアルの実行

## ジョブ設定の開始

1. ログインします。
2. メイン画面で、[Setup(セットアップ)]ボタンをタップします。[Enter Access Code(アクセスコードの入力)]フィールド(インサーターモデルの上部)とキーパッドがタッチスクリーンディスプレイに表示されます。

3. キーパッドを使用して、スーパーバイザーコード(71)を入力し、Enter キーをタップします。[Enter Access Code(アクセスコードの入力)]フィールドは、カウントアップまたはカウントダウンによって入力されたパスワードコードを表示します。



項目	説明	項目	説明
1	セットアップボタン	4	キーパッド
2	ジョブオプションおよび設定	5	Enter キー
3	高速スクロールボタン*	6	[Enter Access Code(アクセスコードの入力)]フィールド

\* これらのキーは、ジョブ設定の項目を大幅に変更するための早送り機能として使用されます

4. [>>]を押してアクセスコードを適用し、ジョブの設定に進みます。



## ジョブの選択

既存のジョブを選択し、その設定を新しいジョブに合うように変更することができます。

1. [+]および[-]ボタンをタップして、オプションをスクロールさせ、目的のジョブをハイライト表示にします(画面のバナー内のジョブ名が新しいジョブ名に変化します)。
2. [➤]をタップしてジョブを適用し、最初の設定オプションに進みます。

---

注: 既存のジョブを使用した場合、古い設定内容は選択した新しい設定で上書きされます。

---

## スキヤンの有効化 (OMR オンまたはバーコード)

1. スキヤンオプションを設定するには、[+]および[-]ボタンをタップして、ジョブにとって適切なオプションを選択します。

### OMR およびバーコード設定

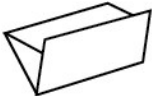
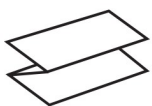
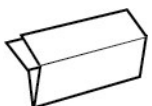
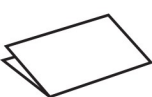
設定	スキヤンの説明
OMR オフ	- OMR スキヤンをオフにします
OMR オン	- OMR スキヤン を実行- 標準の OMR マーク位置
OMR + シーケンス	- OMR スキヤンを実行 - ラップアラウンドシーケンス - 標準の OMR マーク位置
OMR + フィード選択	- OMR スキヤン実行 + 選択フィード / 自動バッチ - 標準の OMR マーク位置
OMR + フィード選択 + シーケンス	- OMR スキヤン実行 + 選択フィード / 自動バッチ - ラップアラウンドシーケンスまたはバーコード - 標準の OMR マーク位置
2D BCR の対象:	- 2D バーコードスキヤン実行

2. [ >> ] ボタンをタップして選択内容を適用し、次の設定に進みます。

## 折りタイプの設定

1. [+]および[-]ボタンをタップして、折りタイプをスクロールさせて選びます。

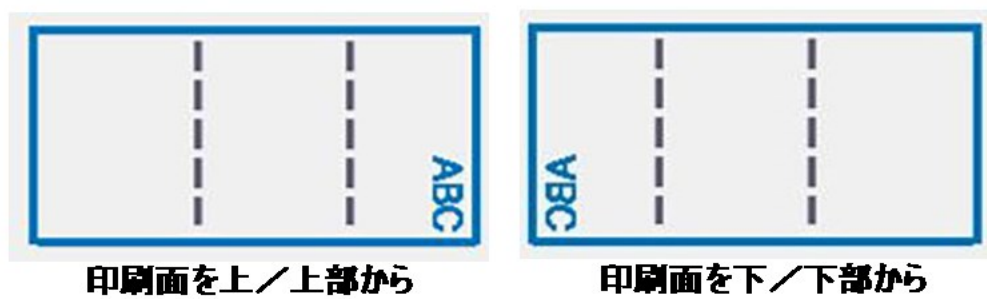
折りタイプ

紙折り	説明
	C 折り
	Z 折り
	二重折り
	二つ折り

2. [>>]ボタンをタップして折りタイプを適用し、次の設定に進みます。

## 紙の向き

選択した折りタイプによっては、用紙をフィーダーにセットする際の紙の向きがディスプレイに表示されます。

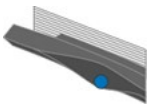



## メインスキャンシートフィーダーの設定

メインシートフィーダーは、選択した折りタイプに基づいて自動的に設定されます。

- C 折りおよび二重折り - シートフィーダー 1 がメインシートフィーダーとして設定されます
- Z 折りおよび二つ折り - シートフィーダー 2 がメインシートフィーダーとして設定されます

1. [+] および [-] ボタンをタップして、ジョブオプションをスクロールします。

アイコン	オプション	説明
	フィーダーオン	フィーダーをオンにします。
	二重検知	フィーダーで二重検知を実行します (二重検知機能は、同時に 2 枚以上のシートがフィードされるとインサーターを停止します)。
	SF (選択フィード)	選択フィードをオンにします (選択フィードでは、封筒ごとに追加のシートを 1 枚フィードするようにフィーダーに指示します)。

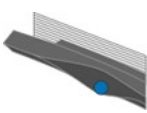

注: フィーダーアイコンが表示されていない場合、このジョブではフィーダーがアクティブになっていません。

2. [>>] ボタンをタップしてオプションを適用し、次の設定に進みます。

## 第 2(補助)シートフィーダーの設定

第 2 スキャンシートフィーダーを設定します。

1. [+]および[-]ボタンをタップして、オプションをスクロールします。

アイコン	オプション	説明
	フィーダーオン	フィーダーをオンにします。
	二重検知	フィーダーで二重検知を実行します (二重検知機能は、同時に 2 枚以上のシートがフィードされるとインサーターを停止します)。
	選択フィード	選択フィードをオンにします (選択フィードでは、封筒ごとに追加のシートを 1 枚フィードするようにフィーダーに指示します)。

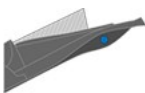

注: フィーダーアイコンが表示されていない場合、このジョブではフィーダーがアクティブになっていません。

2. [>>]ボタンをタップしてオプションを適用し、次の設定に進みます。

## インサートフィーダーの設定

インサートフィーダーを使用するかどうか、またその使用方法を決定します。オプションの設定を適宜行います。

1. [+]および[-]ボタンをタップして、オプションをスクロールします。

アイコン	オプション	説明
	フィーダーオン	フィーダーをオンにします。
	二重検知オン	フィーダーで二重検知を実行します（二重検知機能は、同時に2枚以上のシートがフィードされるとインサーターを停止します）。
	選択フィードオン	選択フィードをオンにします（選択フィードでは、封筒ごとに追加のシートを1枚フィードするようにフィーダーに指示します）



注: フィーダーアイコンが表示されていない場合、このジョブではフィーダーがアクティブになっていません。

2. [>>]ボタンをタップしてオプションを適用し、次の設定に進みます。

## シーラーの設定

封筒を封かんするかどうかを決定したうえで、シーラーの設定を行います。

1. [+]および[-]ボタンをタップして、封かんオプションのオンとオフを切り替えます。

アイコン	オプション	説明
	オン	封筒を自動的に封かんするために、シーラーユニットがオンになります。シーラーのボトルに、E-Zシール®がいっぱいに入っていることを確認します。
	オフ	シーラーユニットがオフになります。封筒は、封かんされずに処理されます。

2. [>>]ボタンをタップしてオプションを適用し、次の設定に進みます。

## 用紙の長さの設定

1. インサーターカバーの横にあるスケールを使用して、用紙の大きさを測ります。



- **米国定形** - 279 mm (11 インチ)
  - **A4 用紙** - 297 mm
2. [+]**および**[-]**ボタンをタップして、用紙の長さをスクロールします (mm 単位で表示)。**
  3. [**>>**]**ボタンをタップして用紙の長さの値を適用し、次の設定に進みます。**



## 折り A の設定

先ほど選択した折りタイプと用紙の長さに応じて、最初の紙折りの適切な寸法がインサーターによって提示されます。通常、この設定をそのまま使用できます。

**設定を保持するには:**

1. [>>] ボタンをタップしてオプションを適用し、次の設定に進みます。

**設定を変更するには:**

1. 標準の紙折り設定を変更するには、目的の紙折りの長さが表示されるまで[+]および[-]ボタンをタップします。

---

**注:** インサーターでは、利用可能な仕様に応じてオプションが自動的に制限されます。折り A の長さを変更すると、折り B の寸法が用紙の適切な長さでインサーターの仕様の範囲内に収まるように自動的に変更されます。

---

2. [>>] ボタンをタップして折りの値を適用し、次の設定に進みます。

## 折り B の設定

折り A 同様に、インサーターにより折り B の正しい寸法が提示されます。

設定を保持するには:

1. [>>] ボタンをタップしてオプションを適用し、次の設定に進みます。

設定を変更するには:

1. 目的の紙折りの長さが表示されるまで、[+] および [-] ボタンを押します。星形アイコンが、設定している紙折りパネルの横に表示されます。
2. [>>] ボタンをタップして折りの値を適用し、次の設定に進みます。

## 封筒の縦の設定

1. 前面カバーの計測スケールを使用して、封筒の縦の長さを測ります。



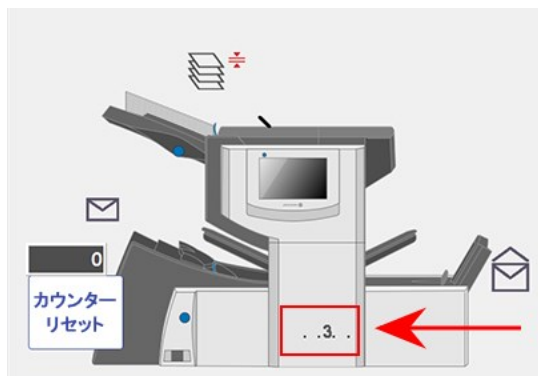
2. [+]および[-]ボタンをタップして、計測結果をスクロールして選択します(mm 単位表示)。
3. [>>]ボタンをタップして値を適用し、次の設定に進みます。

## 封筒停止の設定

停止位置には 1～5 の 5 つの位置があります。通常の重量の用紙に標準の折りを加える場合、3 が標準の設定になります。薄手の軽量な用紙を封入する場合は、小さな数値を、厚手の重い用紙を封入する場合は、大きな数値を設定する必要があります。

1. [+]および[-]ボタンをタップして、封筒停止の位置をスクロールさせて選択します。
2. [>>]ボタンをタップしてその位置を適用し、次の設定に進みます。

**注:**封筒停止の位置を設定した後、タッチスクリーンのインサーターモデルの下部にこの設定が表示されます(たとえば、..3..は 3 の位置であることを示します)。



## バッチカウンターの設定

- **バッチカウンターオン** - バッチカウンターがオンになっている場合、処理の終了した郵便物の定義済みバッチを自動的に処理できます。バッチが完了すると、インサーターは自動的に停止します。
- **バッチカウンターオフ** - バッチカウンターがオンになっていない場合、ディスプレイのカウンターは、**[Reset Counter(カウンターリセット)]**がタップされるまで、処理されたアイテムの数をカウントします。**[Start(スタート)]**ボタンをタップすると、郵便物の次のバッチの処理が開始されます。

バッチカウンターを設定するには、次の手順に従います。

1. **[+]**および**[-]**ボタンをタップして、バッチモードの**オンとオフ**を切り替えます。

---

**注:**バッチカウンターがオンに設定されている場合、インサーターによってバッチ数量を尋ねるメッセージが表示されます。デフォルトの数量は 50 です。ただし、**[+]**および**[-]**ボタンをタップして、999 までの任意の値を選択できます。

---

2. **[>>]**ボタンをタップして、設定を適用します。

## ジョブ設定の確認

これで、ジョブ設定が完了しました。タッチスクリーンディスプレイでは、選択されたジョブ設定のすべてがインサーターモデルと各アイコンによって表示されます。

1. ジョブ設定を確認します。
2. [◀]および[▶]ボタンをタップして設定項目をスクロールさせ、設定の変更を行います。
3. セットアップの変更が完了したら、[Setup(セットアップ)]ボタンをタップして新しい設定を適用し、セットアップモードを終了します。

タッチスクリーンに、新しいジョブ設定と、「Trial Piece Required(トライアルが必要です)」というメッセージが表示されます。

4. [トライアルを実行](#)して、セットアップをテストします。

---

注:ジョブ設定の内容は、変更または削除されるまでは、電源を切断した場合でもインサーターに保持されています。

---

## トライアルの実行

トライアルを実行してジョブ設定をテストします。

1. マテリアルをセットし、メニューの[Trial Piece(トライアル)]ボタンをタップします。

---

**注:**システムの起動後、最初のジョブを実行する際には、タッチスクリーンに[Check/Clear Accumulator(アキュムレーターの確認/除去)]と表示されます。これは、アキュムレーターにページがセットされていないことを確認するためのものです。このメッセージが表示されている場合は、次の手順を実行してください。

- a.アキュムレーターのカバーを開けてマテリアルが残っていないか確認します。
- b.残っているマテリアルがあれば取り除きます。
- c.カバーを閉じ、[Trial Piece(トライアル)]をタップします。

- 
2. 未封かんのトライアルを調べて、封筒内にすべてのマテリアルが正しく封入されていることを確認します。設定を変更する必要がある場合は、次の手順に従います。
    - a. メイン画面で、[Setup(セットアップ)]ボタンをタップします。
    - b. スーパーバイザーパスワード(71)でログインします。
    - c. [◀] [▶]ボタンをタップして、変更したい設定までスクロールします。
    - d. [+]および[-]ボタンをタップして、目的のオプションが表示されるまでスクロールさせて選択します。
  3. セットアップの変更が完了したら、[Setup(セットアップ)]ボタンをタップして新しい設定を適用し、実行モードに戻ります。インサーターがジョブを新しい設定で保存します。
  4. トライアルをもう一度実行して、変更した設定をテストします。

---

**注:**設定を変更する場合は必ず、トライアルを実行する必要があります。

---

## リンクフィードによるトライアルの実行

リンクフィードが有効になっているジョブでトライアルが必要な場合は、両方のフィーダーに用紙をセットする必要があります。これは、トライアル中に、各フィーダーから用紙がフィードされるためです。2つのトライアルが作成されます。



## 誤った住所の位置 – 折り設定の調整

トライアルを実行して住所の位置が適切でなかった場合は、以下を参照して折りの設定を調整してください。

折りタイプ	住所の位置が高すぎる	住所の位置が低すぎる
C 折り	折り A を減らす	折り A を増やし、折り B を同じだけ増やす
Z 折り	折り A を増やす	折り A を減らし、折り B を同じだけ増やす
二つ折り	折り A を増やす	折り A を減らす
二重折り	折り A を減らす	折り A を増やす

折りの調整は 5 mm (0.20 インチ) ずつ行うことをお勧めします。

## スキャン以外のジョブのプログラミング

スキャン以外のジョブをプログラミングするには、次の手順に従います。さまざまなジョブ設定に移動すると、処理のガイドとなる星形アイコンがプログラミング対象エリアの横に表示されます。

- ログイン
- ジョブ設定の開始
- ジョブの選択
- スキャンを無効にする (OMR オフ) (インサーターにスキャン機能がない場合はこのステップをスキップ)
- 折りタイプの設定
- 蓄積の設定
- メインシートフィーダーの設定
- 第2シートフィーダーの設定
- インサートフィーダーの設定
- モードタイプの設定 (封入または折り)
- シーラーの設定
- 用紙の長さの設定
- 折りAの設定
- 折りBの設定
- 封筒の縦の設定
- 封筒停止の設定
- バッチカウンターの設定
- ジョブ設定の確認
- トライアルの実行

## ジョブ設定の開始

1. ログインします。
2. メイン画面で、[Setup(セットアップ)]ボタンをタップします。[Enter Access Code(アクセスコードの入力)]フィールド(インサーターモデルの上部)とキーパッドがタッチスクリーンディスプレイに表示されます。

3. キーパッドを使用して、スーパーバイザーコード(71)を入力し、Enter キーをタップします。[Enter Access Code(アクセスコードの入力)]フィールドは、カウントアップまたはカウントダウンによって入力されたパスワードコードを表示します。



項目	説明	項目	説明
1	セットアップボタン	4	キーパッド
2	ジョブオプションおよび設定	5	Enter キー
3	高速スクロールボタン*	6	[Enter Access Code(アクセスコードの入力)]フィールド

\* これらのキーは、ジョブ設定の項目を大幅に変更するための早送り機能として使用されます

4. [>>]を押してアクセスコードを適用し、ジョブの設定に進みます。

## ジョブの選択

既存のジョブを選択し、その設定を新しいジョブに合うように変更することができます。

1. [+]および[-]ボタンをタップして、オプションをスクロールさせ、目的のジョブをハイライト表示にします(画面のバナー内のジョブ名が新しいジョブ名に変化します)。
2. [➤]をタップしてジョブを適用し、最初の設定オプションに進みます。

---

注: 既存のジョブを使用した場合、古い設定内容は選択した新しい設定で上書きされます。

---

## スキヤンの無効化

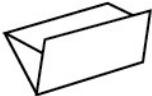



システムで(OMRまたはバーコード)スキヤンが有効になっている場合、[OMR off(OMR オフ)]に設定するとスキヤンが無効になります。

1. メッセージが表示されたら、[+]および[-]ボタンをタップして、[OMR off(OMR オフ)]を選択します。
2. [>>]ボタンをタップして選択内容を適用し、次の設定に進みます。

## 折りタイプの設定

1. [+]および[-]ボタンをタップして、折りタイプをスクロールさせて選びます。

折りタイプ

アイコン	紙折り
	C 折り
	Z 折り
	二重折り
	二つ折り

2. [>>]ボタンをタップして折りタイプを適用し、次の設定に進みます。

## 紙の向き

選択した折りタイプによっては、用紙をフィーダーにセットする際の紙の向きがディスプレイに表示されます。



印刷面を上／上部から



印刷面を下／下部から



## 蓄積オプションの設定

蓄積の機能を使用すると、複数のシートをシートフィーダーから封筒にフィードできます。

1. [+]および[-]ボタンをタップして、蓄積オプションをスクロールします。
2. 蓄積をオンに設定した場合は、次の手順に従います。
  - a. [➤]ボタンをタップして、各封筒にフィードするページの数を設定します([Accumulation(蓄積)] = 2 ~ 10)。
  - b. [+]および[-]ボタンをタップして、ページ数を入力します。
3. [➤]ボタンをタップしてオプションを適用し、次の設定に進みます。

### インサーター蓄積設定

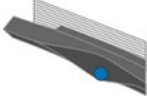


設定	説明
[Accumulation: OFF (蓄積: オフ)]	各フィーダーから 1 ページだけフィードできます。
[Accumulation From Main (メインフィーダーから蓄積)]	複数のシートをまとめて折って封筒に封入します (C 折り、Z 折りの場合は最大 5 枚、二つ折りの場合は最大 10 枚 - 8 枚を超える場合はサービス調整が必要になる可能性あり、二重折りの場合は最大 3 枚)。
[Accumulation From Suppl (補助フィーダーから蓄積)]	1 枚のメイン住所シートはメインフィーダーからフィードされ、追加シート (最大 4 枚) の丁合は第 2 フィーダーから行えます。
[Accumulation(蓄積)] = (2~10)	蓄積がオンの場合は、各封筒にフィードするページ数を選択します。

## メインシートフィーダーの設定

メインシートフィーダーは、選択した折りタイプに応じて、自動的に選択されます。

- C 折りおよび二重折り-シートフィーダー 1 がメインシートフィーダーとして設定されます
- Z 折りおよび二つ折り-シートフィーダー 2 がメインシートフィーダーとして設定されます

1. [+]および[-]ボタンをタップして、ジョブオプションをスクロールします。

アイコン	オプション	説明
	フィーダーオン	フィーダーをオンにします。
	二重検知	フィーダーで二重検知を実行します (二重検知機能は、同時に 2 枚以上のシートがフィードされるとインサーターを停止します)。
	手動フィード	丁合済みセットを手動でフィードします。シートフィーダー 1 でのみ実行できます。  インサーターは、各セットがシートフィーダー 1 に手動で挿入されるのを待って、自動的にセットを折って封入します。
	リンクフィード: オン (Relay 3500 および 4500 モデルでのみ使用可能)	リンクフィードをオンにします (第 1 シートフィーダーからフィードされます。このフィーダーが空になると、第 2 シートフィーダーからのフィードに自動的に切り替わります)。

注: フィーダーアイコンが表示されていない場合、このジョブではフィーダーがアクティブになっていません。

2. [>>]ボタンをタップしてオプションを適用し、次の設定に進みます。

## リンクフィードについて

スキャン以外のジョブでは、リンクフィードをメインシートフィーダーに対してのみ設定できます。リンクフィードを使用する場合、最初はメインシートフィーダーからシートがフィードされます。第1シートフィーダーが空になると、第2シートフィーダーからのフィードに自動的に切り替わります。

リンクフィードを有効にしてジョブを実行している間、タッチスクリーンのディスプレイではインサーターモデルの上に次のように表示されます:1>2>1。これにより、フィーダー間でフィードが自動的に切り替わります。

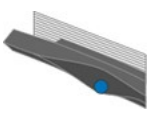

## 手動フィードオプションについて

- 手動フィードを設定すると、最大5枚のシートセット(セットあたり最大400gsm(100ポンド))をホチキス留めできます。紙折り後(圧縮後)のセットの最大の厚みは、2mm(0.08インチ)以下である必要があります。
- インサーターは、各セットがシートフィーダー1に手動で挿入されるのを待って、自動的にセットを折って封入します。
- 手動フィードモードの実行中、シートフィーダー2は操作できなくなります。
- [Accumulation(蓄積)]がオフの場合のみ、手動フィードオプションを実行できます。

## 第 2(補助)シートフィーダーの設定

第 2 シートフィーダーのオプションを設定します。

1. [+]および[-]ボタンをタップして、オプションをスクロールします。

アイコン	オプション	説明
	フィーダーオン	フィーダーをオンにします。
	二重検知	フィーダーで二重検知を実行します (二重検知機能は、同時に 2 枚以上のシートがフィードされるとインサーターを停止します)。

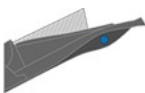

注: フィーダーアイコンが表示されていない場合、このジョブではフィーダーがアクティブになっていません。

2. [>>]ボタンをタップしてオプションを適用し、次の設定に進みます。

## インサートフィーダーの設定

インサートフィーダーを使用するかどうか、またその使用方法を決定します。オプションの設定を適宜行います。

1. [+]および[-]ボタンをタップして、オプションをスクロールします。

アイコン	オプション	説明
	フィーダーオン	フィーダーをオンにします。
	二重検知オン	フィーダーで二重検知を実行します（二重検知機能は、同時に2枚以上のシートがフィードされるとインサーターを停止します）。
	選択フィードオン	選択フィードをオンにします（選択フィードでは、封筒ごとに追加のシートを1枚フィードするようにフィーダーに指示します）

注: フィーダーアイコンが表示されていない場合、このジョブではフィーダーがアクティブになっていません。

2. [>>]ボタンをタップしてオプションを適用し、次の設定に進みます。

## モードタイプの設定 – 封入または折りのみ

この設定は、蓄積がオフの場合のみ表示されます。インサーターでは、マテリアルの封入が必要なジョブであるかどうか、または紙折りのみのジョブであるかどうかを指定する必要があります。

- **封入モード** – 通常の封入ジョブを実行するために、封筒フィーダーが有効になります。
- **紙折りのみモード** – 封筒フィーダーをオフにして、インサーターを紙折りモジュールとして機能するように設定します。



モードタイプを設定するには、以下の手順に従います。

1. [+]および[-]ボタンをタップして、オプションを切り替えます。
2. [>>]をタップしてモードタイプを適用し、次の設定に進みます。

## シーラーの設定

この設定は、スキャン以外のジョブで封入モードがオンになっている場合にのみ表示されます。封筒を封かんするかどうかを決定し、シーラーを設定します。

1. [+]**および**[-]ボタンをタップして、オプションの**オンとオフ**を切り替えます。

アイコン	オプション	説明
	オン	封筒を自動的に封かんするために、シーラーユニットがオンになります。シーラーのボトルに、E-Z シール®がいっぱいに入っていることを確認します。
	オフ	シーラーユニットがオフになります。封筒は、封かんされずに排出されます。

2. [>>]ボタンをタップしてオプションを適用し、次の設定に進みます。
  - シートフィーダーのいずれかを選択した場合は、「[用紙の長さの設定](#)」に進みます。
  - インサートフィーダーのみを使用している場合、紙折りは選択できません。途中の手順をスキップして「[封筒の縦の設定](#)」まで進みます。

## 用紙の長さの設定

1. インサーターカバーの横にあるスケールを使用して、用紙の大きさを測ります。



- **米国定形** - 279 mm (11 インチ)
  - **A4 用紙** - 297 mm
2. **[+]**および**[-]**ボタンをタップして、用紙の長さをスクロールします (mm 単位で表示)。
  3. **[>>]**ボタンをタップして用紙の長さの値を適用し、次の設定に進みます。



## 折り A の設定

先ほど選択した折りタイプと用紙の長さに応じて、最初の紙折りの適切な寸法がインサーターによって提示されます。通常、この設定をそのまま使用できます。

**設定を保持するには:**

1. [>>] ボタンをタップしてオプションを適用し、次の設定に進みます。

**設定を変更するには:**

1. 標準の紙折り設定を変更するには、目的の紙折りの長さが表示されるまで[+]および[-] ボタンをタップします。

---

**注:** インサーターでは、利用可能な仕様に応じてオプションが自動的に制限されます。折り A の長さを変更すると、折り B の寸法が用紙の適切な長さでインサーターの仕様の範囲内に収まるように自動的に変更されます。

---

2. [>>] ボタンをタップして折りの値を適用し、次の設定に進みます。

## 折り B の設定

折り A 同様に、インサーターにより折り B の正しい寸法が提示されます。

設定を保持するには:

1. [>>] ボタンをタップしてオプションを適用し、次の設定に進みます。

設定を変更するには:

1. 目的の紙折りの長さが表示されるまで、[+] および [-] ボタンを押します。星形アイコンが、設定している紙折りパネルの横に表示されます。
2. [>>] ボタンをタップして折りの値を適用し、次の設定に進みます。
  - 封入ジョブ - 引き続き、「封筒の縦の設定」に進みます。
  - 紙折りのみのジョブ - これ以上必要なジョブ設定はないため、手順をスキップして「ジョブ設定の確認」まで進みます。

## 封筒の縦の設定

1. 前面カバーの計測スケールを使用して、封筒の縦の長さを測ります。



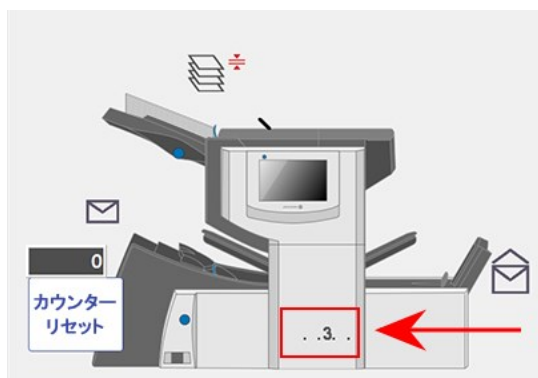
2. [+]および[-]ボタンをタップして、計測結果をスクロールして選択します(mm 単位表示)。
3. [>>]ボタンをタップして値を適用し、次の設定に進みます。

## 封筒停止の設定

停止位置には 1～5 の 5 つの位置があります。通常の重量の用紙に標準の折りを加える場合、3 が標準の設定になります。薄手の軽量な用紙を封入する場合は、小さな数値を、厚手の重い用紙を封入する場合は、大きな数値を設定する必要があります。

1. [+]および[-]ボタンをタップして、封筒停止の位置をスクロールさせて選択します。
2. [>>]ボタンをタップしてその位置を適用し、次の設定に進みます。

**注:**封筒停止の位置を設定した後、タッチスクリーンのインサーターモデルの下部にこの設定が表示されます(たとえば、..3..は 3 の位置であることを示します)。



## バッチカウンターの設定

- **バッチカウンターオン** – バッチカウンターがオンになっている場合、処理の終了した郵便物の定義済みバッチを自動的に処理できます。バッチが完了すると、インサーターは自動的に停止します。
- **バッチカウンターオフ** – バッチカウンターがオンになっていない場合、ディスプレイのカウンターは、[Reset Counter(カウンターリセット)]がタップされるまで、処理されたアイテムの数をカウントします。[Start(スタート)]ボタンをタップすると、郵便物の次のバッチの処理が開始されます。

バッチカウンターを設定するには、次の手順に従います。

1. [+]および[-]ボタンをタップして、バッチモードの**オンとオフ**を切り替えます。

---

**注:**バッチカウンターがオンに設定されている場合、インサーターによってバッチ数量を尋ねるメッセージが表示されます。デフォルトの数量は 50 です。ただし、[+]および[-]ボタンをタップして、999 までの任意の値を選択できます。

---

2. [>>]ボタンをタップして、設定を適用します。

## ジョブ設定の確認

これで、ジョブ設定が完了しました。タッチスクリーンディスプレイでは、選択されたジョブ設定のすべてがインサーターモデルと各アイコンによって表示されます。

1. ジョブ設定を確認します。
2. [◀]および[▶]ボタンをタップして設定項目をスクロールさせ、設定の変更を行います。
3. セットアップの変更が完了したら、[Setup(セットアップ)]ボタンをタップして新しい設定を適用し、セットアップモードを終了します。

タッチスクリーンに、新しいジョブ設定と、「Trial Piece Required(トライアルが必要です)」というメッセージが表示されます。

4. [トライアルを実行](#)して、セットアップをテストします。

---

注:ジョブ設定の内容は、変更または削除されるまでは、電源を切断した場合でもインサーターに保持されています。

---

## トライアルの実行

トライアルを実行してジョブ設定をテストします。

1. マテリアルをセットし、メニューの[Trial Piece(トライアル)]ボタンをタップします。

---

注: システムの起動後、最初のジョブを実行する際には、タッチスクリーンに[Check/Clear Accumulator(アキュムレーターの確認/除去)]と表示されます。これは、アキュムレーターにページがセットされていないことを確認するためのものです。このメッセージが表示されている場合は、次の手順を実行してください。

- a. アキュムレーターのカバーを開けてマテリアルが残っていないか確認します。
- b. 残っているマテリアルがあれば取り除きます。
- c. カバーを閉じ、[Trial Piece(トライアル)]をタップします。

- 
2. 未封かんのトライアルを調べて、封筒内にすべてのマテリアルが正しく封入されていることを確認します。設定を変更する必要がある場合は、次の手順に従います。
    - a. メイン画面で、[Setup(セットアップ)]ボタンをタップします。
    - b. スーパーバイザーパスワード(71)でログインします。
    - c. [◀] [▶] ボタンをタップして、変更したい設定までスクロールします。
    - d. [+] および [-] ボタンをタップして、目的のオプションが表示されるまでスクロールさせて選択します。
  3. セットアップの変更が完了したら、[Setup(セットアップ)]ボタンをタップして新しい設定を適用し、実行モードに戻ります。インサーターがジョブを新しい設定で保存します。
  4. トライアルをもう一度実行して、変更した設定をテストします。

---

注: 設定を変更する場合は必ず、トライアルを実行する必要があります。

---

## リンクフィードによるトライアルの実行

リンクフィードが有効になっているジョブでトライアルが必要な場合は、両方のフィーダーに用紙をセットする必要があります。これは、トライアル中に、各フィーダーから用紙がフィードされるためです。2つのトライアルが作成されます。



## 誤った住所の位置 – 折り設定の調整

トライアルを実行して住所の位置が適切でなかった場合は、以下を参照して折りの設定を調整してください。

折りタイプ	住所の位置が高すぎる	住所の位置が低すぎる
C 折り	折り A を減らす	折り A を増やし、折り B を同じだけ増やす
Z 折り	折り A を増やす	折り A を減らし、折り B を同じだけ増やす
二つ折り	折り A を増やす	折り A を減らす
二重折り	折り A を減らす	折り A を増やす

折りの調整は 5 mm (0.20 インチ) ずつ行うことをお勧めします。

## 既存ジョブの変更

既存ジョブを変更するには、スーパーバイザーレベルのアクセス権が必要です。

1. メイン画面で、**[Setup(セットアップ)]**ボタンをタップします。**[Enter Access Code(アクセスコードの入力)]**フィールド(インサーターモデルの上部)とキーパッドがタッチスクリーンディスプレイに表示されます。
2. キーパッドを使用して、スーパーバイザーコード(71)を入力し、**Enter** キーをタップします。**[Enter Access Code(アクセスコードの入力)]**フィールドは、カウントアップまたはカウントダウンによって入力されたパスワードコードを表示します。
3. **[>>]**ボタンをタップしてコードを適用し、ジョブの選択に進みます。
4. **[+]**および**[-]**ボタンをタップして、変更するジョブを表示します。
5. **[>>]**ボタンをタップしてジョブ選択を適用し、ジョブのプログラミング設定に進みます。
6. **[<<]**および**[>>]**ボタンをタップして、設定をスクロールします。
7. **[+]**および**[-]**ボタンのタップによるスクロール操作で、オプションまたは目的の値を選びます。
8. **[>>]**ボタンをタップして、ジョブ設定を適用します。
9. **[Setup(セットアップ)]**ボタンをタップして、新しい設定を適用し、セットアップモードを終了します。

## ジョブの削除

既存のジョブを削除するには、スーパーバイザーレベルのアクセス権が必要です。

1. メイン画面で、[Setup(セットアップ)]ボタンをタップします。[Enter Access Code(アクセスコードの入力)]フィールド(インサーターモデルの上部)とキーパッドがタッチスクリーンディスプレイに表示されます。
2. キーパッドを使用して、スーパーバイザーコード(71)を入力し、Enter キーをタップします。[Enter Access Code(アクセスコードの入力)]フィールドは、カウントアップまたはカウントダウンによって入力されたパスワードコードを表示します。
3. [>>]ボタンをタップしてコードを適用し、ジョブの選択に進みます。
4. [+]および[-]ボタンをタップして、削除するジョブを表示します。
5. [X]ボタンをタップして、ジョブを削除します。ディスプレイに「Do you want to delete this application?(このアプリケーションを削除してよろしいですか?)」と表示されます。
6. チェックマークをタップします。
7. [X]ボタンをタップして、ジョブを削除します。ジョブが消去される際に、「Deleting Job(ジョブを削除しています)」というメッセージがディスプレイに短く表示されます。
8. [Setup(セットアップ)]ボタンをタップして、ジョブのセットアップモードを終了します。

# 5 - ジョブの実行

## セクションの内容

---

ジョブの実行	74
インサーターの電源を入れる	75
タッチスクリーンをオンにする	76
ログイン	77
実行するジョブの選択	78
シートフィーダーのセット	79
標準封筒フィーダーのセット	83
大容量封筒フィーダーのセット	85
インサートフィーダーのセット	89
トライアルの実行	93
インサーターの開始と停止	96
封かん液の追加	97
ドロップスタッカーの調整	98

## ジョブの実行

以下の操作は、ジョブがすでにプログラミングされていることを前提としています。

- インサーターの電源を入れる
- タッチスクリーンをオンにする
- システムにログインする
- ジョブを選択する
- シートフィーダーをセットする
- 封筒フィーダーをセットする
- インサートフィーダーをセットする
- トライアルを実行する
- インサーターをスタートさせる
- シーラーを充填する(必要に応じて)
- スタッカーを調整する(必要に応じて)

## インサーターの電源を入れる

1. 電源コードがインサーターの裏側にあるソケットに接続されていることを確認します。
2. 機械の近くにある、利用しやすいコンセントに電源コードが接続されていることを確認します。
3. 電源スイッチを押してオンの位置にします。



この写真は Relay 4500 モデルのもので

---

**注:** Relay インサーター 2500 および 3500 モデルでは、電源スイッチがインサーターの前面左側、封筒フィーダーの下にあります。

---

## タッチスクリーンをオンにする

タッチスクリーンをオンにする前に、インサーターの電源が入っていることを確認します。

1. **オン/オフ電源ボタン**は、タッチスクリーンの左上にあります。タッチスクリーンをオンまたはオフにするには、電源ボタンを数秒間長押しします。



**オン/オフ電源ボタン**

---

注: タッチスクリーンがスリープモードになっている場合は、オン/オフボタンを軽く押してください。

---

## ログイン

1. タッチスクリーンのデスクトップで**インサーターアイコン**をダブルタップします。
2. オペレーターのリストのダイアログが表示されたら、オペレーターをハイライト表示にして**チェックマーク**をタップします。
3. **[Password(パスワード)]**フィールドをタップします。キーボードが表示されたら、パスワードをフィールドに入力します。
4. **チェックマーク**をタップしてログインします。



## 実行するジョブの選択

ログインすると、タッチスクリーンに、最後に実行されたジョブと、「Trial Piece Required(トライアルが必要です)」というメッセージが表示されます。この時点で、実行するジョブを選択します。

1. 目的のジョブが表示されるまで[Job(ジョブ)]メニューボタンをタップしてジョブをスクロールします。



あるいは、デフォルトのジョブ設定でインサーターを実行する場合は、[Default Job(デフォルトジョブ)](最もよく使用されるジョブ)ボタンをタップします。

2. マテリアルのセットを開始します。引き続き、次のセクションの手順に従ってください。

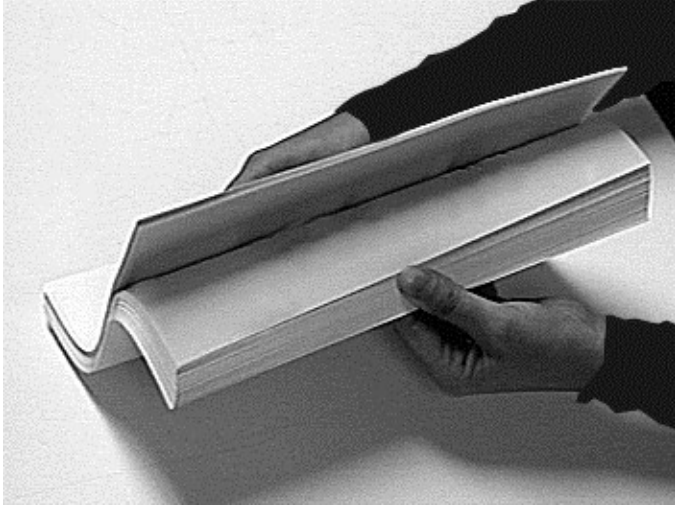
## シートフィーダーのセット

### 自動フィードジョブ

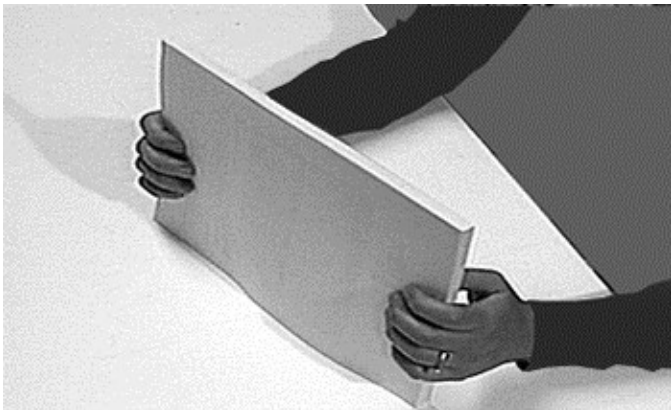
1. サイドガイドをマテリアルの幅に合わせて調整します。マテリアルの両側端に触れるようにガイドの位置を調整したら、サイドガイドコントロールを1/4回転分だけ反対方向に回します。これで、ガイドとマテリアルの間に適切なすき間が設定されます。



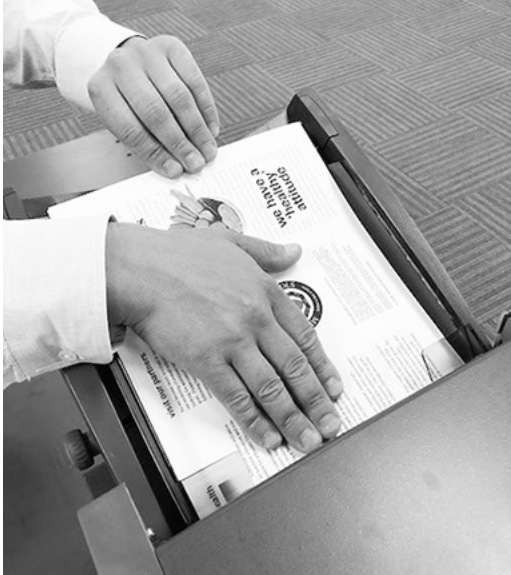
2. 各シートがくっつかないように、用紙の束をよくさばきます。



3. 用紙の束の側面を軽くたたいて、端部をきれいに揃えます。ディスプレイに、用紙の正しい方向が示されます。



4. 用紙の束をフィードデッキ上に置きます。デッキを下に移動して、用紙の束の上部をフィードローラーの下にスライドさせます。



## 手動フィードジョブ

手動フィードジョブを選択する場合、つまりシートフィーダー1が丁合済みセットの手動フィード用に設定されている場合は、シートフィーダーをセットしないでください。この場合は、必要に応じて一度に1つの丁合済みセットを手でフィードします。

1. 手動フィードジョブを実行する前に、レバーを後ろに引きます。こうするとフィード構造が開き、手動フィード操作を実行できるようになります。




---

**注:** フィーダーを自動運転で使用する場合は、このレバーを通常の位置に戻します。

---

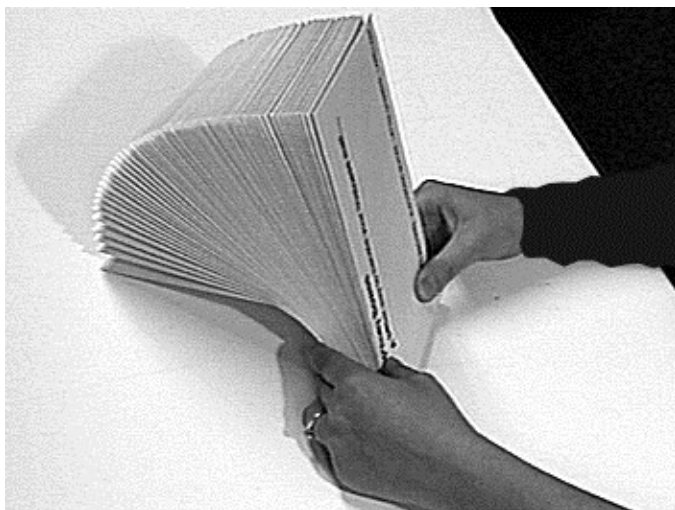
## 標準封筒フィーダーのセット

Relay 2500 および 3500 では、標準(トレイスタイル)のシートフィーダーを使用して、ジョブ用の外封筒をフィードします。

1. サイドガイドの調整つまみを使用して、サイドガイドを封筒の幅に合わせて調整します。
2. 封筒の両側端に触れるようにガイドの位置を調整したら、調整つまみを 1/4 回転分だけ反対方向に回します。これで、ガイドと封筒の間に適切なすき間が設定されます。



3. 各封筒がくっつかないように封筒の束をよくさばきます。



4. フラップ面を上、封筒の終端をフィードデッキに置きます。

**重要！** 最初の封筒の前端がフロントフィードローラーの下にあること、および封筒の束がデッキに重ね置きされていることを確認してください。

5. 封筒が安定するように、ウェッジを束の後ろにスライドさせます。



## 大容量封筒フィーダーのセット

Relay 4500 は、大容量(エレベータ方式)封筒フィーダーを使用して、外側の封筒をフィードします。

1. 封筒フィーダープラットフォームを下げるには、封筒フィーダーセットスイッチを押します。

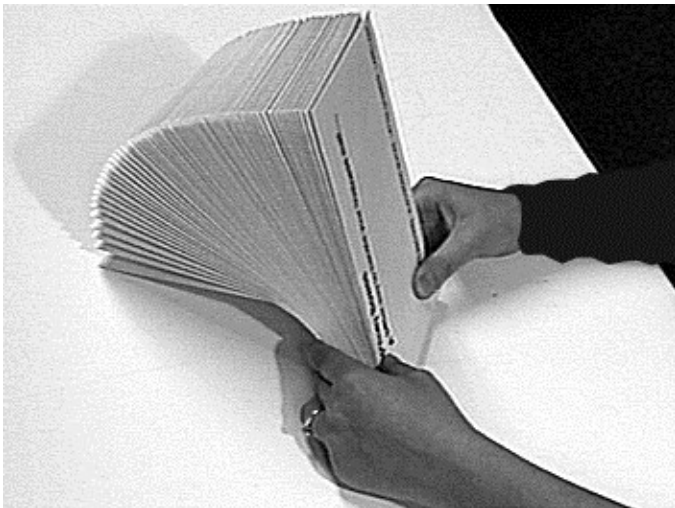




2. サイドガイドの調整つまみを使用して、サイドガイドを封筒の幅に合わせて調整します。封筒の両側端に触れるようにガイドの位置を調整したら、調整つまみを1/4回転分だけ反対方向に回します。これで、ガイドと封筒の間に適切なすき間が設定されます。

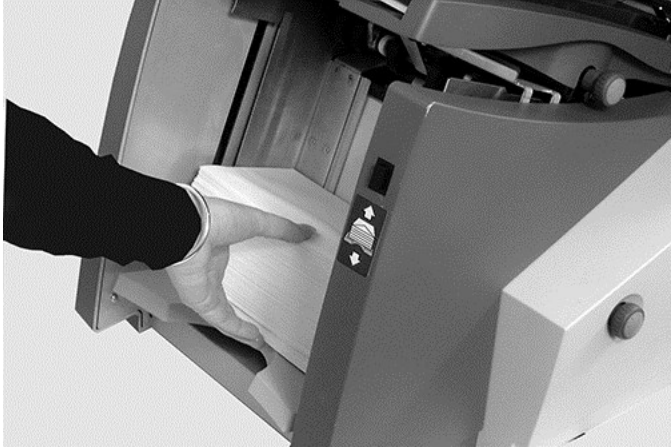


3. 各封筒がくっつかないように封筒の束をよくさばきます。



4. フラップ面を上にして、フラップが最後になるように、封筒の束をフィーダーにセットします。

5. 封筒フィーダーセットスイッチをもう一度押して、封筒の束を通常のフィード位置に押し上げます。



## インサーターを停止させない場合の封筒のセット

写真のように Relay 4500 は、大容量(エレベータ方式)封筒フィーダーを備えています。

1. フィーダープラットフォームを下げるには、封筒フィーダーセットスイッチを押します。

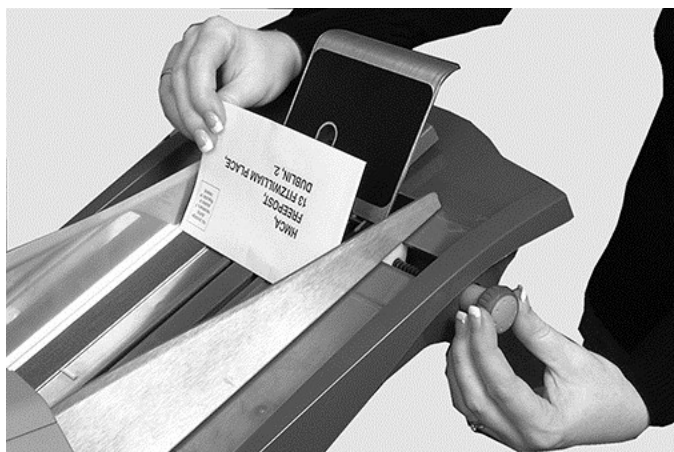


2. このセクションの前にある説明に従って、封筒をセットします。
3. 封筒フィーダーセットスイッチをもう一度押します。封筒の束が通常のフィード位置に押し上げられ、処理が自動的に続行されます。

## インサートフィーダーのセット

インサートフィーダーは、折りを必要としないアイテムをフィードします。ジョブに必要なインサートフィーダーは取り外すことができます。

1. サイドガイドの調整つまみを使用して、サイドガイドを実行するインサートの幅に合わせて調整します。



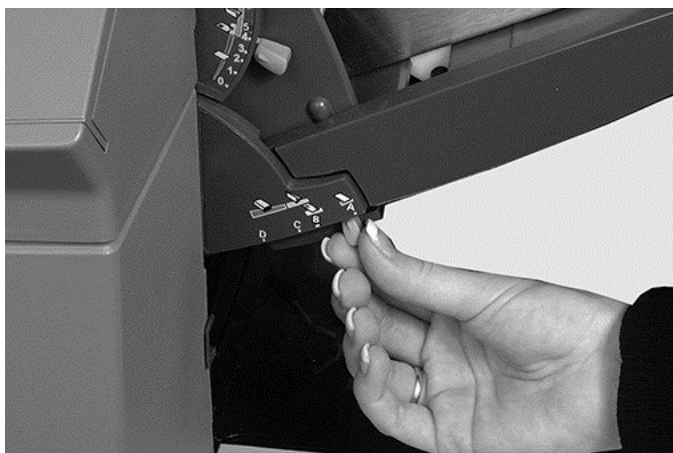
2. インサートの両側端に触れるようにガイドの位置を調整したら、調整つまみを1/4回転分だけ反対方向に回します。これで、ガイドとインサートの間に適切なすき間が設定されます。
3. インサートフィーダーにあるラベルを確認して、インサートタイプ(スリップ、返信用封筒、折り済み、ブックレット)をアイコンとカラーに合わせます。

**インサートの識別** - ラベルに各種の設定が記載されている場合は、厚手のインサートにはより高い数値または文字を選択することをお勧めします。

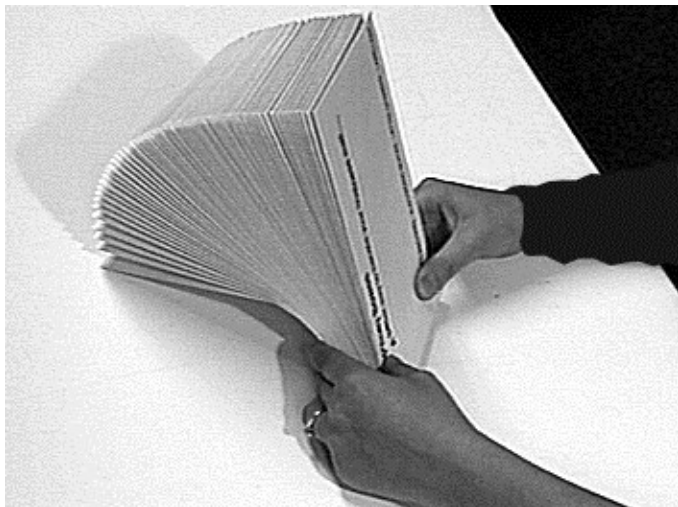
4. 青いセパレーターギャップレバーを目的の数値に設定します。



5. セパレーターシールドレバーを目的の文字に設定します。



6. 各インサートがくっつかないように、インサートの束をよくさばきます。



7. インサートを重ねて、フィードデッキに置きます。セットの方向は、インサートによって異なります。以下の方向ガイドラインに従ってインサートをセットします。



インサートタイプ	方向
スリップ	印刷面を上、下端を最初に入れる
返信用封筒	印刷面を上、上端を最初に入れる
折り済み	印刷面を上、折り端を最初に入れる
ブックレット	印刷面を上、綴じ端エッジを最初に入れる



- ウェッジ(マテリアルの支え)を下方にスライドさせて封筒の束の後ろまで動かし、封筒を支えます。



## トライアルの実行

トライアルを実行してジョブ設定をテストします。

1. マテリアルをセットし、メニューの[Trial Piece(トライアル)]ボタンをタップします。

---

**注:**システムの起動後、最初のジョブを実行する際には、タッチスクリーンに[Check/Clear Accumulator(アキュムレーターの確認/除去)]と表示されます。これは、アキュムレーターにペー  
ジがセットされていないことを確認するためのものです。このメッセージが表示されている場合は、  
次の手順を実行してください。

- a.アキュムレーターのカバーを開けてマテリアルが残っていないか確認します。
- b.残っているマテリアルがあれば取り除きます。
- c.カバーを閉じ、[Trial Piece(トライアル)]をタップします。

- 
2. 未封かんのトライアルを調べて、封筒内にすべてのマテリアルが正しく封入されていることを確認し  
ます。設定を変更する必要がある場合は、次の手順に従います。
    - a. メイン画面で、[Setup(セットアップ)]ボタンをタップします。
    - b. スーパーバイザーパスワード(71)でログインします。
    - c. [◀] [▶]ボタンをタップして、変更したい設定までスクロールします。
    - d. [+]および[-]ボタンをタップして、目的のオプションが表示されるまでスクロールさせて選択しま  
す。
  3. セットアップの変更が完了したら、[Setup(セットアップ)]ボタンをタップして新しい設定を適用し、実  
行モードに戻ります。インサーターがジョブを新しい設定で保存します。
  4. トライアルをもう一度実行して、変更した設定をテストします。

---

**注:**設定を変更する場合は必ず、トライアルを実行する必要があります。

---



## リンクフィードによるトライアルの実行

リンクフィードが有効になっているジョブでトライアルが必要な場合は、両方のフィーダーに用紙をセットする必要があります。これは、トライアル中に、各フィーダーから用紙がフィードされるためです。2つのトライアルが作成されます。

## 誤った住所の位置 – 折り設定の調整

トライアルを実行して住所の位置が適切でなかった場合は、以下を参照して折りの設定を調整してください。

折りタイプ	住所の位置が高すぎる	住所の位置が低すぎる
C 折り	折り A を減らす	折り A を増やし、折り B を同じだけ増やす
Z 折り	折り A を増やす	折り A を減らし、折り B を同じだけ増やす
二つ折り	折り A を増やす	折り A を減らす
二重折り	折り A を減らす	折り A を増やす

折りの調整は 5 mm (0.20 インチ) ずつ行うことをお勧めします。

## インサーターの開始と停止

- タッチスクリーンの[Start(スタート)]ボタンをタップして、自動運転を開始します。インサーターは、用紙がなくなるまで、または停止させるまで動作し続けます。
- タッチスクリーンの[Stop(ストップ)]ボタンをタップします。

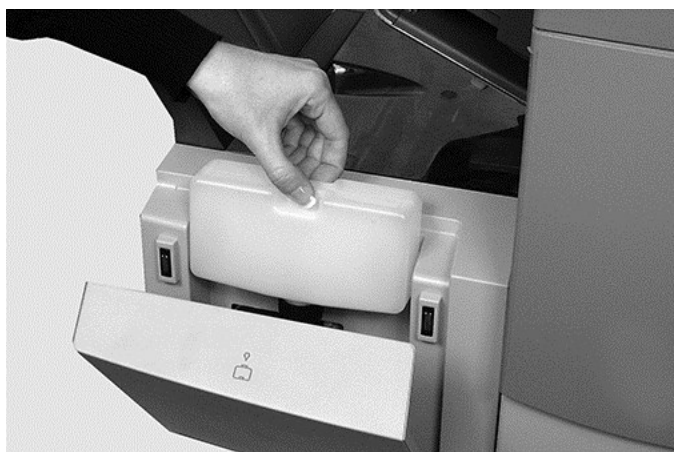


## 封かん液の追加

1. [Add Sealing Solution (封かん液の追加)]アイコンが点滅したら、E-Zシール<sup>®</sup>液を追加してください。

アイコン	説明
	封かん液の追加

2. インサーターの後方右側にあるシーラーボトルのカバーヒンジを開き、ボトルを取り外します。



3. ボトルに示されているレベルまで、封かん液を補充します。
4. シーラーボトルをインサーターの所定の位置に取り付け、カバーを閉じます。

---

**注:**シーラーユニットが完全に空になった場合、新しい封かん液がシーラーに染み込み、操作を再開できるようになるまでには時間がかかります。こうすることにより、確実に封かんできます。

---

---

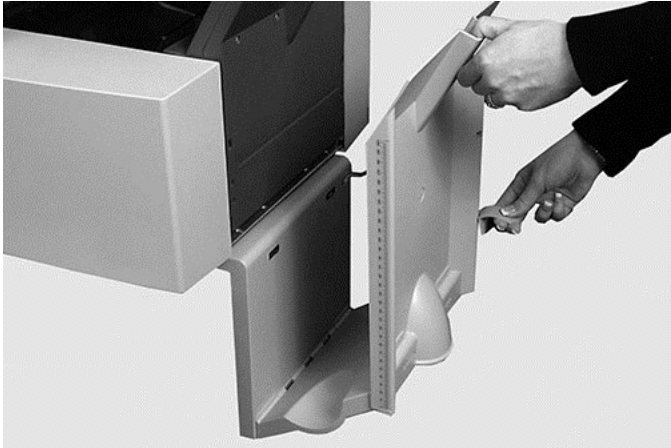
**注:**藻の増殖や水垢の蓄積を最小限に抑えるため、ピツニーボウズの E-Zシールを使用することをお勧めします。

---

## ドロップスタッカーの調整

必要な場合は、ジョブのマテリアルに合わせてドロップスタッカーを調整します。

1. スタッカーの後方にあるレバーを持ち上げ、スタッカーをいずれかのプリセット位置に合わせます。



2. レバーを下げ、スタッカーをその位置にロックします。

---

**注:** 使用しないときは、スタッカーを持ち上げて、インサーターの出口部に縦方向に掛けておくことができます。

---

# 6 – OMR スキャン

## セクションの内容

---

光学的マーク認識 (OMR) スキャンについて	100
OMR スキャンとフィーダー	101
OMR スキャンタイプについて	102
OMR スキャンマークについて	103
OMR の仕様	108
標準の OMR 位置 - 図	109
OMR スキャンヘッドの調整	110
OMR スキャンのエラーメッセージ	113

## 光学的マーク認識 (OMR) スキャンについて

OMR マークとは通常、用紙が搬送される向きと直角に、白い用紙に印刷される濃い色の実線です。この線には、OMR スキャナーを作動するための太さと濃さが必要になります。

OMR スキャナーは OMR システムソフトウェアと連携して動作し、ドキュメントがシステムに搬送される際に、ドキュメントにある 1 つ以上の異なる OMR マークを確認します。これらのマークを追跡し、インサート処理全体にわたってセットとしてドキュメントをまとめることで、郵便物の整合性を向上します。



### 正確性

このインサーターの OMR スキャンでは、広範なエラーチェック機能を使用します。この機能により、封入の正確性が大幅に向上します。封筒に誤ったシートセットが封入される可能性が低くなります。

## OMR スキャンとフィーダー

OMR 装備モデルには、各シートフィーダー上にスキャンヘッドがあります。

このシートフィーダーのいずれかに、OMR マークが印刷されたシートをセットすると、1 枚の封筒につき複数のシートがフィードされます。

- シートフィーダー 1 は C 折りおよび二重折り用
- シートフィーダー 2 は Z 折りおよび二つ折り用

シートフィーダーおよびインサートフィーダーで選択した OMR シートを管理するように設定できます。その結果、OMR を使用して、追加シートおよびインサートありまたはなしで、1 つのフィーダーから異なる枚数のシートを封筒に封入することができます。

追加シートおよび折り済みインサートは、最初の丁合シートと共に入れ子状に封筒に封入されます。OMR を使用すると封筒ごとに異なる内容物を入れることができるため、住所の記載されたシートを封筒の窓から見えるように封入することができます。これにより、それぞれのシートセットが正しく受領者に届くようになります。

---

**注:** Relay 2500 では、単一シートフィーダーの制限により、OMR スキャンを C 折りおよび二重折りのマテリアルでしか使用できません。

---



# OMR スキャンタイプについて

## 基本 OMR

- 複数ページドキュメントの丁合が可能になります
- 1 封筒あたりのシート数を変えることができます
- シートの蓄積、折り加工、封入を行います

## 拡張 OMR

- 実行中のシートのフィードを選択した時点で停止したり、その他のフィーダーを使用するかどうかを選択したりできます。
- より高レベルな郵便物の整合性が実現されるため、機密文書が誤った顧客に郵送されることがありません。
- 選択フィードオプションを使用できます。このオプションにより、OMRコードのコマンドで(補助シートフィーダーまたは)インサートフィーダーから追加のシートがフィードされます。

## OMR スキャンマークについて

OMR 機能は、購入されたオプションによって異なります。ここで説明する一部のマークは、OMR 機能を拡張する追加機能として使用できます。

### OMR スキャンマークの位置

印刷された OMR マークをインサータースキャナーで正しく読み取るためには、マークをページ上の定義された範囲内に配置する必要があります。ページの先頭から約 1/3 の範囲が OMR マークの標準的な位置になります。

### OMR スキャンコードで使用されるマーク

ここでは、OMR コードに割り当て可能または割り当てが必要な OMR マークについて説明します。

#### ベンチマーク

これは必須のマークです。これはコードの最初のマークである必要があり、セット内のすべてのページに印刷されます。

#### セーフティ

これは、郵便物の整合性を向上する必須のマークです。ベンチマークの直後に自動的に配置されます。

#### 丁合の終わり(EOC)

このマークは、このシートが丁合またはセット内でフィードされる最後のシート(住所シート)であることを示します。

システムはこのマークが存在しないときに動作します。つまり、アクションはこのマークがスキャナーで読み取られていない場合に実行されます。したがって、OMR コードに「Not EOC (EOC 以外)」と表示されます。

## 丁合の始め(BOC)

このマークは、このシートが丁合またはセット内でフィードされる最初のシートであることを示します。

システムはこのマークが存在しないときに動作します。つまり、アクションはこのマークがスキャナーで読み取られていない場合に実行されます。したがって、OMR コードに「Not BOC (BOC 以外)」と表示されます。

## パリティ

このマークは、印刷時のマークの合計数を偶数にするセキュリティ機能です。スキャン時にこのマークのいずれか 1 つが欠落していた場合、インサーターはオペレーターがエラーを修正できるように停止します。

## リタイミングマーク

このマークは、コードを構成する OMR マークの各グループにおいて必須です (OMR マークのグループ化の説明については、このセクションの後半を参照してください)。

これにより、正確なスキャンのためにインサーターを再調整します。リタイミングマークはパリティ計算でカウントされます。

## 選択フィード(SF1、SF2)

これらのマークは、追加のシートおよびインサートがセットされているフィーダーからの用紙のフィードをセットごとに管理するために使用されます。したがって、単一ステーションのインサーターでは選択フィードを使用できません。

補助シートフィーダー内にあるマテリアルを選択するには、第 1 シートフィーダーの [Select Feed 1 (選択フィード 1)] マークを使用します。C 折りおよび二重折りの場合、第 1 フィーダーはシートフィーダー 1 です。Z 折りおよび二つ折りの場合、第 1 フィーダーはシートフィーダー 2 です。

インサートフィーダー内のマテリアルを選択するには、第 1 シートフィーダーの [Select Feed 2 (選択フィード 2)] マークを使用します。C 折りおよび二重折りの場合、第 1 フィーダーはシートフィーダー 1 です。Z 折りおよび二つ折りの場合、第 1 フィーダーはシートフィーダー 2 です。

## 自動バッチ

自動バッチ機能の使用中は、このスキャンマークによってバッチの最後のシートが識別されます。オペレーターが処理済みの郵便物を取り除いて処理を再び開始できるように、インサーターが機械を自動的に停止する合図となります。このマークは、本機能を必要とする OMR セットのすべてのシートに印刷されている必要があります。

## ラップアラウンドシーケンス(WAS1、WAS2、WAS3)

番号付けシステムで、一連のバイナリコードを使用します。必要なページが含まれていなかったり、郵便物セット内の用紙の順序が乱れている場合、システムは処理を停止し、エラーメッセージを表示します。

3つのラップアラウンドシーケンスが、コード内で使用されます。3つの2進数の使用により、0~7の10進カウントが可能になります。ページには、印刷中に連続して、0~7、それからまた0に戻って番号が印刷されます。

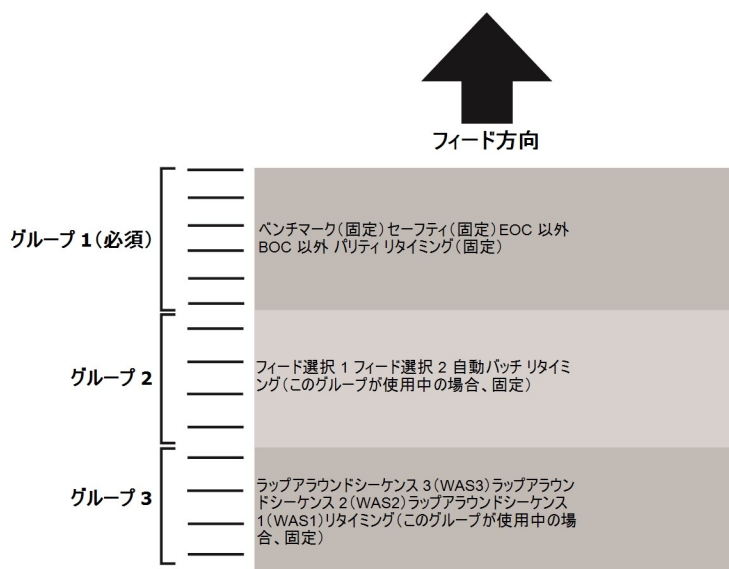
## OMR マークのグループ化

それぞれの OMR コードは、2つの固定マーク(ベンチマークおよびセーフティマーク)で始まります。これらのマークはセンサーに最も近い終端に配置されています。これらの後にグループ1、2、または3のマークが続き、それぞれのグループは3つのデータマークで構成され、1つの固定マークが続きます。それぞれのデータマークは必要に応じて[Present(プレゼンス)]または[Absent(アブセンス)]となり、該当する機能を反映します。それぞれのコードは、リタイミングマークで終わる必要があります。

基本 OMR モードは、グループ1のみを使用します。拡張 OMR モードは、特定のジョブに必要なグループ1とグループ2および/またはグループ3を使用します。

## C 折りおよび二重折りジョブ

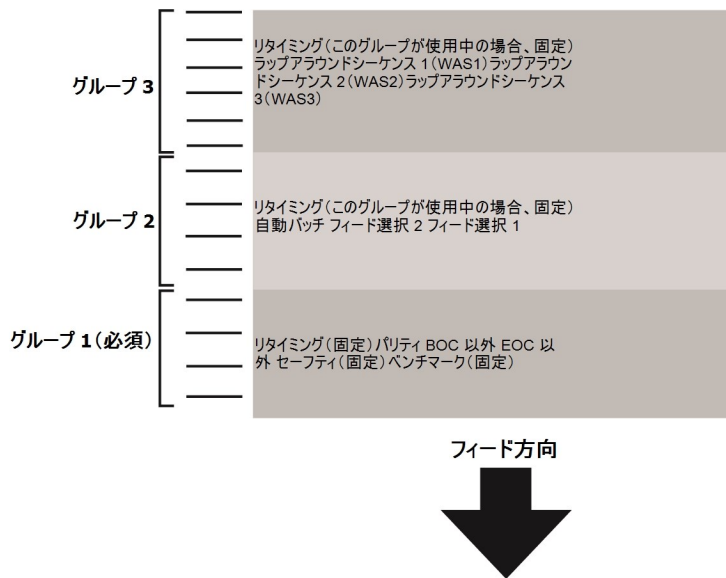
シートの左上隅にマークを配置します。マークは上から下の順番で印刷されます。



通常の丁合順序でシートを印刷します。それぞれのセットで処理される最初のシートが住所シートとなり、最後に処理されるのが各セットの最後のシートとなります。

## Z 折りおよび二つ折りジョブ

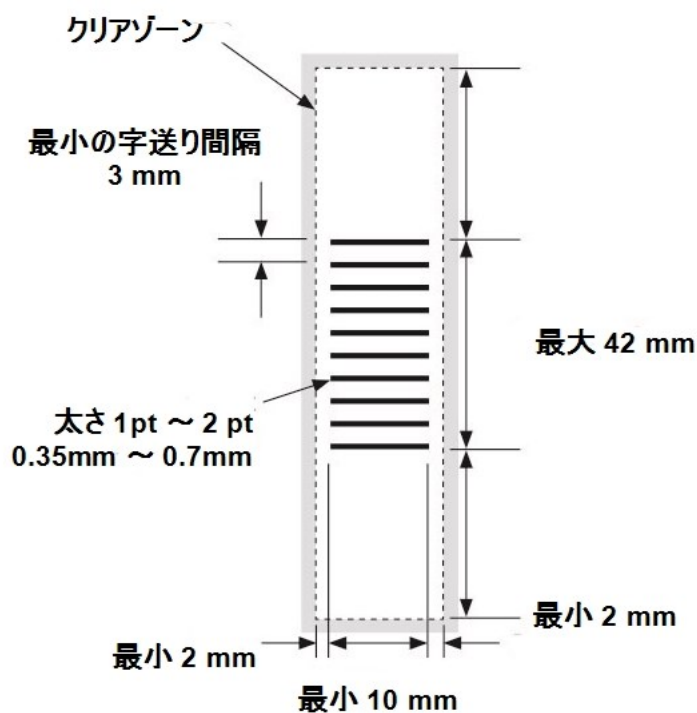
シートの右下隅にマークを配置します。マークは下から上の順番で印刷されます。



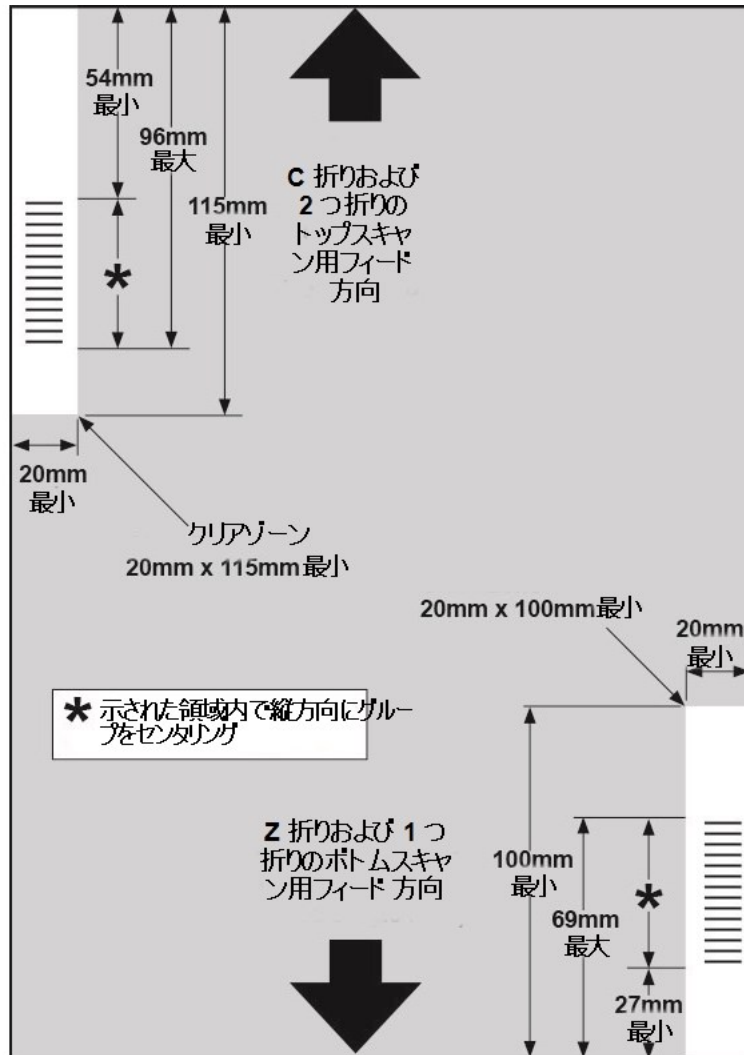
通常の丁合順序でシートを印刷します。それぞれのセットで処理される最初のシートが住所シートとなり、最後に処理されるのが各セットの最後のシートとなります。

## OMR の仕様

- OMR マークは、太さが 1 ~ 2 pt (0.35 mm (0.014 インチ) ~ 0.7 mm (0.027 インチ))、幅が最低でも 10 mm (0.393 インチ) の黒の実線でなければなりません。
- 各マークの位置は、3 mm (0.118 インチ) 以上の等間隔になっている必要があります。
- マーク周辺の領域 (クリアゾーン) には、誤ってスキャナーで読み取られる可能性のある印刷やその他のマークなどが無いようにしてください。
- シートのクリアゾーンの真裏には、何も印刷しないようにしてください。



## 標準の OMR 位置 - 図



### OMR マークの位置:

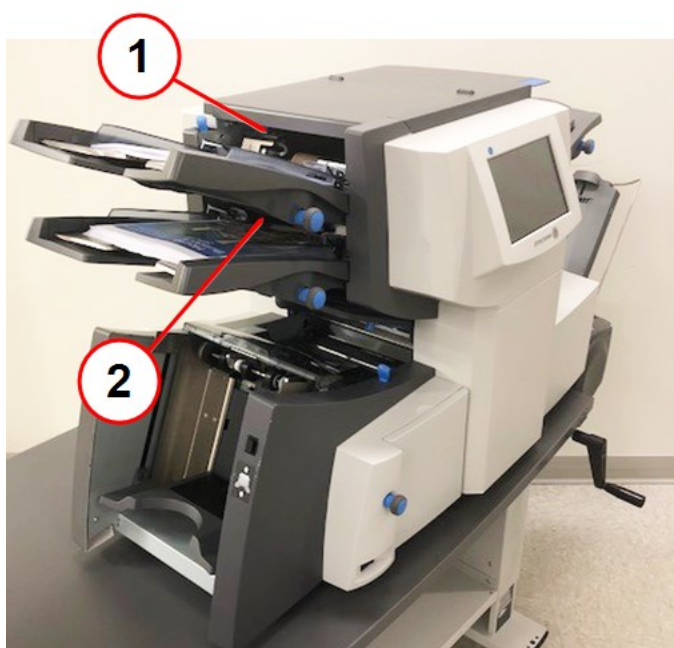
- C 折りおよび二重折り: トップスキャン、左上隅
- Z 折りおよび二つ折り: ボトムスキャン、右下隅



## OMR スキャンヘッドの調整

OMR スキャンが正常に機能するために、スキャンヘッドがマテリアルに印刷されているスキャンダッシュ (OMR) マークに合わせた位置にあることが重要です。

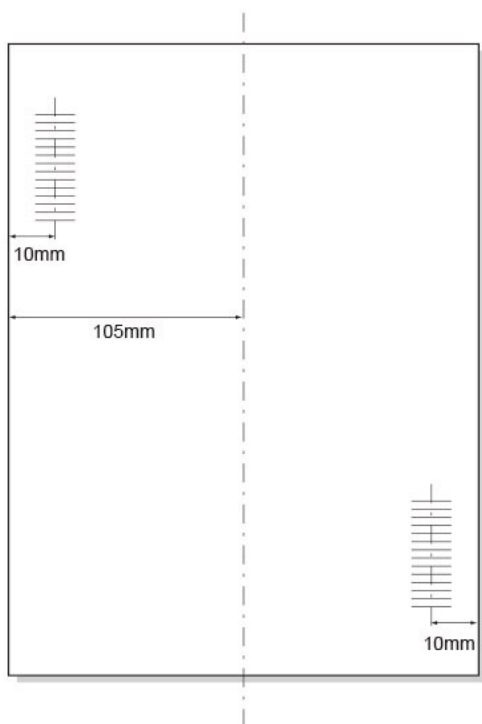
1. シートフィーダー 1 の上部カバーを開き、インサーターの後方付近にあるスキャンヘッドを探します。
2. シートフィーダー 2 とその下部にある紙折りプレートを取り外すと、インサーターの前方に取り付けられている、シートフィーダー 2 のスキャンヘッドが見つかります。



項目	説明
1	上シートフィーダースキャナー
2	下シートフィーダースキャナー

3. マテリアルを縦に半分に折って、マテリアルの側面から中央までの距離を測ります。
  - A4 サイズ用紙 = 105 mm
  - レターサイズシート = 8.5 x 11 インチ (108 mm)

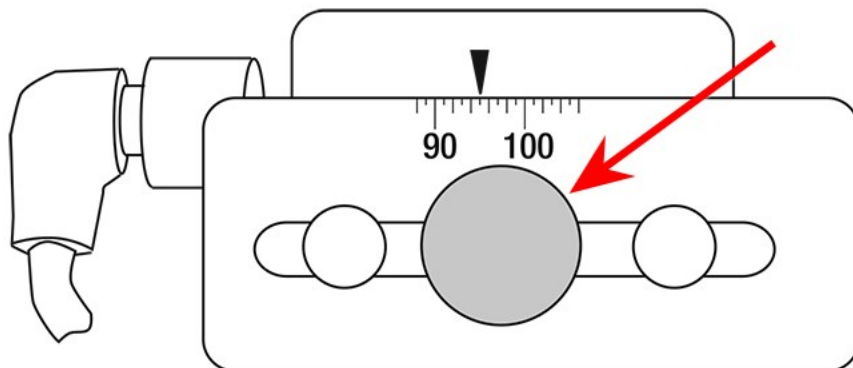
4. 次に、下記の例のとおりシートの端からスキャンダッシュマークの中央までの距離を測って、この測定値を縦に半分に折ったときの測定値から引きます。



**紙折りの例:**

- A4 サイズシートの場合、この縦に二つ折りしたときの測定値は 105 mm になります。
- 用紙の端からスキャンダッシュマークの中央までの距離が 10 mm の場合、スキャンヘッド設定は 95 mm (= 105 mm - 10 mm) になります。

5. ロックノブを緩めて、該当するスキャンヘッドを正しい位置にセットします。



ロックノブ

6. ロックノブを締め直します。
7. 下シートフィーダースキャナーを調整した場合は、シートフィーダー2と紙折りプレートの両方を取り付けます。

## OMR スキャンのエラーメッセージ

メッセージ	アクション
OMR マークの間隔が間違っています	2つのマーク間の距離が半分以下の場合、予測距離が読み取られます。マテリアルのスキャンマークを確認してください
OMR マークなし	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 用紙にマークがありません</li> <li>- スキャンセンサーがスキャンマークの中央に位置していません</li> <li>- 用紙が正しくセットされていません</li> </ul>
OMR コードの長さが正しくありません	用紙のコードタイプが設定と一致していません(例: 設定が <b>OMR + シーケンス</b> なのに、用紙は <b>OMR + フィード選択 + シーケンス</b> になっている)
OMR コード形式が正しくありません	リタイミングスキャンマークが含まれていません。マテリアルを確認してください(例: マーク 6 が 10 マークコードに含まれていない)
予想されるセットの最初のシート	BOC マーク(位置 4)が予想外のタイミングで[Present(プレゼンス)]になりましたセットの最初のページが予想されていました
新しい封筒がありません	予想されていた BOC マーク(位置 4)が[Absent(アブセンス)]です。予想されていたセットの最初のページではありません
OMR: パリティエラー	コードでマークの数が偶数になっていません
OMR: シーケンスエラー	シーケンス番号がフィードされる以前のページと連続していませんしたがって、シートの順番が乱れているか、欠落しているシートがあります
OMR: SF マークに一貫性がありません	7 ~ 9 の位置にある選択フィードおよび自動バッチマークが、このセットの以前のシートのマークと異なります
OMR: SF が未使用	選択フィードマークが位置 7 ~ 8 で[Present(プレゼンス)]になっているのに、ジョブ設定に選択フィードが含まれていません
OMR: セットが大きすぎます	セットに含まれているメインフィーダーからのシート数が多すぎます
OMR: バッチの終わり 実行準備完了	インサーターが「バッチの終わり」のために停止しました - オペレーターは手動で封筒をソートできます
モードの変更 フィーダーの再確認	システムにジョブ設定を適用する前に、少なくとも用紙の長さの設定のところまで表示内容をスクロールさせます

このページは意図的に空白になっています。

# 7-バーコードスキャン

## セクションの内容

---

バーコードスキャンについて	116
2D バーコードデータについて	117
バーコードスキャンの仕様	120
バーコードの配置について	122
バーコードカメラの調整	125
バーコードスキャンのエラーメッセージ	126

## バーコードスキャンについて

バーコードアプリケーションは、郵便物の封入を確実に行うことで、郵便物の整合性を高めます。郵便物に関する特定の指示を含むバーコードは、第1シートセットの前面に印刷できます。記録番号、ページ番号、および総ページ数などの情報は、このコードに含めることができます。

### 2D バーコードスキャンのしくみ

2D バーコードスキャンはオプションの機能です。ご利用の機械が2D バーコードスキャンの機能を備えている場合、2D バーコードカメラは、バーコードの画像を撮影したうえで、特定の郵便物の処理方法を取得するためにバーコード情報を解読します。

バーコードシートがフィードされると、バーコードに含まれる情報がインサーターへと送られます。インサーターはこの情報を確認し、正しいシートがフィードされ、封筒に封入されていることを確認します。必要なページがスキップされたり、用紙の順序が乱れている場合、インサーターは処理を停止し、エラーメッセージを表示します。

### バーコードスキャンジョブ - フィードと折り加工

- シートフィーダー1(上部フィーダー)には、C折りおよび二重折りのためのバーコードが印刷されたシートをセットします。
- シートフィーダー2(下部フィーダー)には、Z折りおよび二つ折りのためのバーコードが印刷されたシートをセットします。
- バーコードスキャン機能を使用して、複数のシートを封筒に封入できます。1枚の封筒に封入するシート数はバーコードに含まれる情報によって決まります。
- 追加のシートまたはインサートは、バーコードスキャン機能が搭載された他のフィーダーからフィードできます。
- 二つ折りを使用してシートを処理する場合は、セットサイズを調整して、より重いシートを処理することができます。

---

注: Relay 2500 はバーコードスキャンによってC折りおよび二重折りを処理できます。

---

## 2D バーコードデータについて

バーコードは、情報を符号化し、スキャナーが読み取ることのできるビジュアルパターンに変換したものです。正方形の組み合わせが、スキャナーによって英数字に復号化される要素を構成しています。Relay インサーターが必要とするバーコードでは、18文字が特定の形式に復号化されます。

### 各文字の機能

このセクションでは、バーコード内の18文字のそれぞれの機能を詳しく説明します。これらの機能は変更できません。また、18文字すべてを使用する必要があります。

#### 文字位置 1 ~ 14 (マッチランダムコード)

これらの文字は、アカウント番号、従業員番号、請求書番号、または参照番号のような数値によって構成することができます。インサーターでは、これらの文字が第1シートセット(完成した外封筒内のスキャン対象シート)内のすべてのシートで同一であることを想定しています。そのため、印刷中にこれらの文字の値を増減させる必要はありません。

14文字すべてを使用する必要があります。お客様の参照する番号が14桁未満の場合は、その前に未使用文字を0として付与する必要があります。

たとえば、お客様の請求書番号が8桁の場合、合計14文字にするために“000000”(6つの0)をその請求書番号の前に付ける必要があります。



### 文字位置 15(停止およびフィード選択)

この文字は、処理用の機能として使用され、復号化されるとインサーターに対する各種機能の実行命令となります。次の表に、文字 15 の値とそれぞれの値の機能を示します。

文字 15 の値と機能

値	機能
0	機能なし - 追加の機能がない機械サイクル
1	SF1 (シートフィーダー 2 から追加シートを選択フィード)
2	SF2 (インサートフィーダーから追加インサートを選択フィード)
3	SF1 + SF2 (シートフィーダー 2 から追加シート、インサートフィーダーからインサートを選択フィード)
4	停止 (郵便物の処理が完了して終了したら機械を停止)
5	SF1 + 停止 (シートフィーダー 2 から追加シートを選択フィード、郵便物の処理が完了して終了したら機械を停止)
6	SF2 + 停止 (インサートフィーダーからインサートを選択フィード、郵便物の処理が完了して終了したら機械を停止)
7	SF1 + SF2 + 停止 (シートフィーダー 2 から追加シート、インサートフィーダーからインサートを選択フィードした後、郵便物の処理が完了して終了したら機械を停止)

### 文字位置 16(ページ番号付け)

この文字は、各封筒に封入されるシートを連続カウントするために使用されます。フィードされた最初のシートの値は '1'、2 番目のシートの値は '2'、3 番目のシートの値は '3' という具合に、最後のシートがフィードされるまでカウントされます。

新しいシートセットがバーコードスキャナーに提供(別の封筒に挿入)されると、連続カウントは再開されません。

---

注: 1 文字しか使えないので 10 番目のシートを表す場合は、英字 'A' で代用します (... 5、6、7、8、9、A)。

---

### 文字位置 17(ページカウント)

この文字は、第 1 フィーダーからのフィードと外封筒への封入が行われるシートセット内のシート総数をインサーターに伝えます。

---

注: 文字 16 の値が文字 17 の値に等しくなった場合は、その封筒用にフィードされる最後のシートであることを示します(丁合処理の終了)。インサーターはその封筒を出口部から排出します。

---

### 文字位置 18(ラップアラウンドシーケンス昇順)

この文字は印刷中の連続番号(0 ~ 7 の繰り返し)です。ページの欠落やシートセット内の順序の誤りがあった場合、インサーターは処理を停止し、エラーメッセージを表示します。

## バーコードスキャンの仕様

### バーコード記号の印刷

以下の仕様は、バーコード記号をどこにどのように印刷すべきかについての詳しい情報を示しています。

- バーコードはグレード A のバーコードでなければなりません
- バーコードは白の用紙のみに黒で印刷されたものでなければなりません
- バーコードは 600 dpi 以上の解像度で印刷されている必要があります
- バーコードはテキストまたは画像に重ねて印刷してはいけません
- バーコードと用紙のミシン目が交差してはいけません
- バーコードの周囲には 6 mm のクリアゾーンが必要です
- 他のデータマトリックスバーコードを制御用バーコードの前の領域や、後ろまたは両サイドから 25 mm の範囲内に配置することはできません
- 英数字のみがサポートされます

### 用紙(シート)

以下の仕様は、バーコードの印刷時にどのようなタイプの用紙を使用すべきかに関する詳しい情報を示しています。

- 最小用紙重量 75 ~ 80 gsm (20 ポンド)
- 最大用紙重量 120 gsm (32 ポンド)
- A4 およびレターサイズのシートに対応
- バーコードは白の用紙のみに黒で印刷されたものでなければなりません

## 2D バーコードデータマトリックス

2D バーコードの読み取りは 2D バーコードカメラによってのみ行われます。

- 最小モジュールサイズ: 0.35 mm
- 最大モジュールサイズ: 0.63 mm
- タイプ: ECC 200 標準
- 最小記号サイズ: 5 mm x 5 mm
- 最大記号サイズ: 10 mm x 10 mm
- コードサイズ: 16 x 16 セル (正方形のコードのみ)
- セルサイズはすべて同じサイズである必要があります

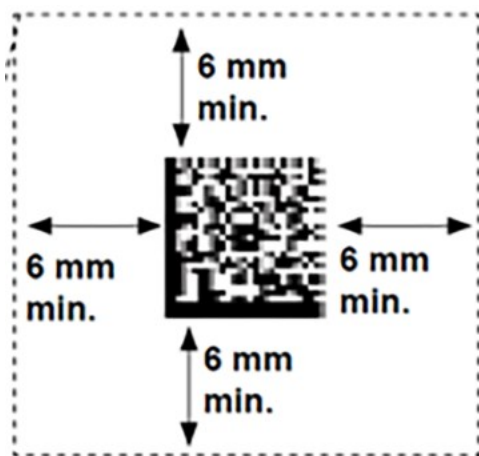
## バーコードの配置について

### バーコードの配置エリア

バーコードは、バーコードの配置エリア内の任意の場所に配置できます。バーコードゾーンは、プライマリバーコードの周辺エリアでの印刷テキストや追加バーコードに関する特定のガイドラインです。このセクションでは、これらのゾーンについて説明します。

### クリアゾーン

クリアゾーンは、バーコードのすぐそばにあるエリアです。このエリアは、シートの表と裏のどちら側についても、印刷やパンチ穴、ミシン目がまったくない状態にしておく必要があります。



クリアゾーン

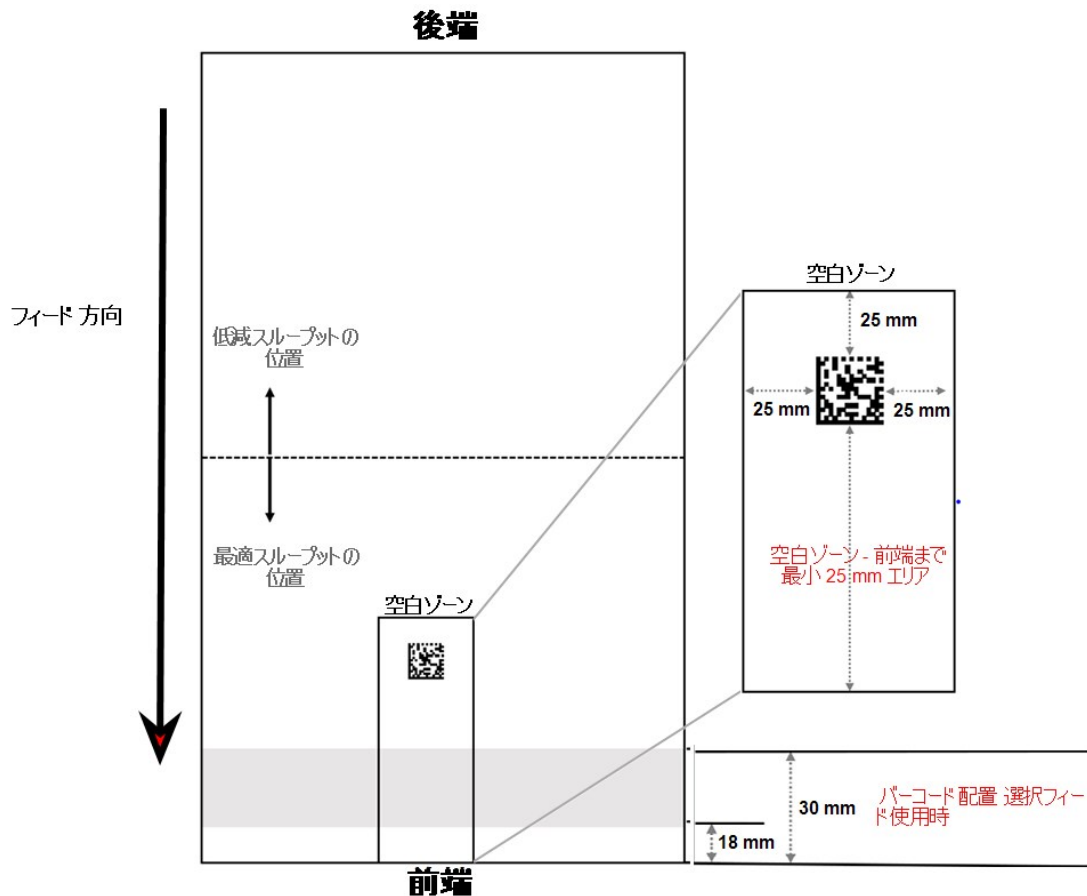
## 空白ゾーン

空白ゾーンは、制御用バーコード(機械によってスキャンされる最初のバーコード)周辺のエリアです。このゾーンは、他のバーコードがない状態にしておく必要があります。

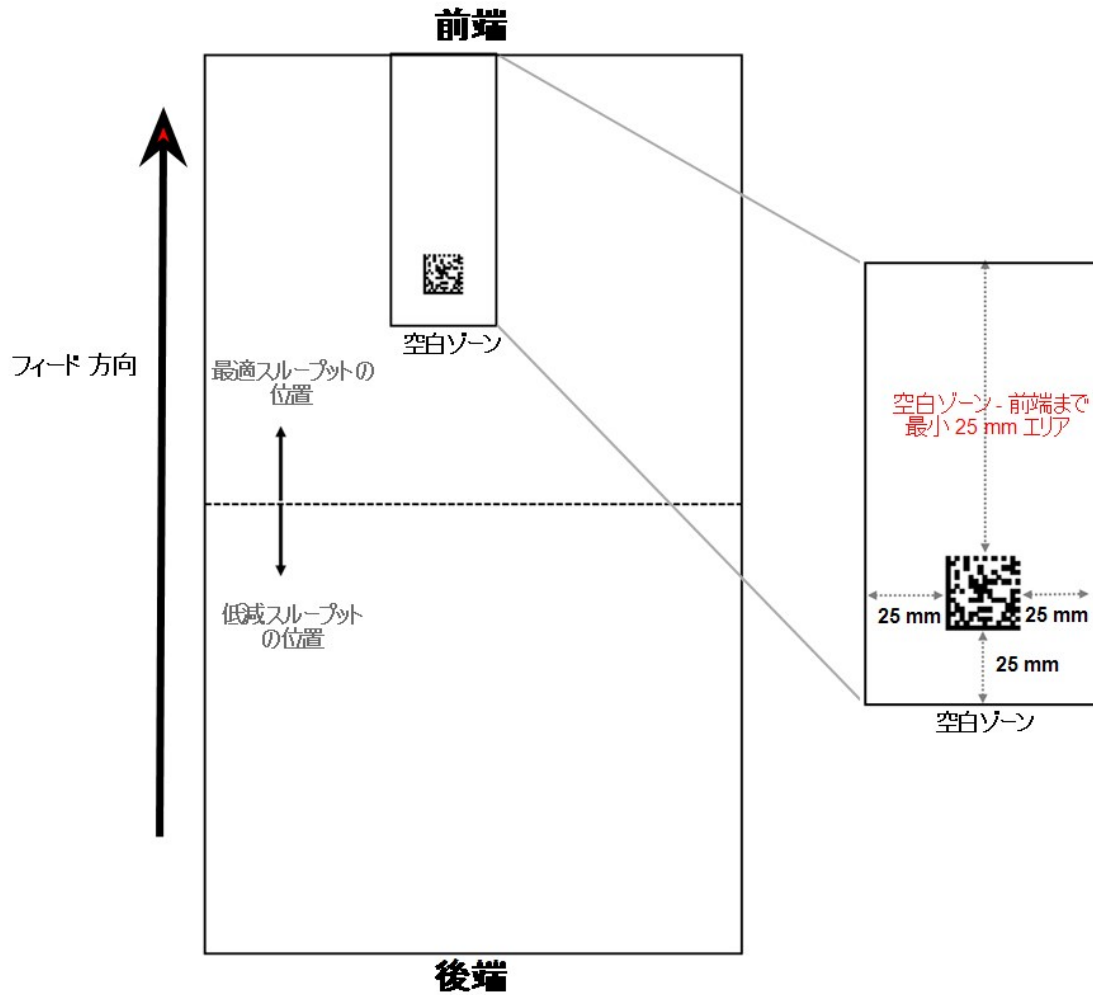
単一のバーコードは、選択フィードスキャン機能を使用する場合を除き、シートのおもて面の任意の場所に印刷できます。[Select Feed(選択フィード)]がオンになっていて、二つ折りおよびZ折りのみの場合は、前端から18～30mmの範囲内に制御用バーコードが印刷されている必要があります。

複数のバーコードがシート上に印刷されている場合、制御用バーコードおよび用紙の前端から25mmの範囲内には他のいかなるバーコードも印刷できません。

### 二つ折りおよびZ折りの用途



二重折りおよびC折りの用途



## バーコードカメラの調整

上部または底部アセンブリのバーコードカメラを調整するには、次の手順に従います。

1. 2D バーコードが印刷されたサンプルシートを縦方向に半分に折ります。
2. 折った側の端をカメラ調整ガイドの“0”の位置に合わせてシートを置きます。
3. カメラブラケットアセンブリの青いつまみを持ち、カメラの矢印がバーコードの真ん中にくるようにアセンブリを動かします。



青い調整つまみ(写真には写っていません)



## バーコードスキャンのエラーメッセージ

メッセージ	問題	解決法
OMR マークなし	<ul style="list-style-type: none"> <li>- スキャナーがバーコードを正常に検知しませんでした</li> <li>- 用紙が正しくセットされていません</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- バーコードスキャナーの再調整</li> <li>- 用紙の方向を確認してください</li> <li>- バーコードシートが適切なフィーダー内にあることを確認してください</li> </ul>
予想されるセットの最初のシート	予想されるセットの最初のシートがバーコードスキャナーで検知されませんでした	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 足りないページを追加してください</li> <li>- シートの順序を修正してください</li> </ul>
新しい封筒がありません	セットの最初のシートが検出され、残りは未検出です	足りないシートを追加して、シートの順序を修正してください
OMR: シーケンスエラー	バーコードに含まれるシーケンス番号がフィーダされた以前のページと連続していません	足りないシートを追加して、シートの順序を修正してください
OMR: SF マークに一貫性がありません	なし	バーコードジョブに使用されていません
OMR: セットが大きすぎます	シートセットに含まれるシート数が多すぎます	このガイドで、折りタイプと厚さの制限を参照してください
OMR: バッチの終わり - 実行準備完了	機械が「バッチの終わり」のために停止しました	オペレーターは手動でスタッカー内の封筒をソートできます
モードの変更フィーダーを確認してください		セットアップモードを終了する前に、シートフィーダーおよびインサートフィーダーの設定を確認してください

# 8 - エラーリカバリーと紙詰まりの解消

## セクションの内容

---

蓄積ジョブ - エラーリカバリー	128
空のフィーダー - エラーリカバリー	129
OMR メッセージ - エラーリカバリー	130
書類の紙詰まりの解消	131
シートフィーダーの紙詰まりの解消	132
紙折りプレートの紙詰まりの解消	135
インサータートレイの紙詰まりの解消	138
キャリッジアセンブリの紙詰まりの解消	141
封筒フィーダー一部の紙詰まりの解消	144
封筒出口部の紙詰まりの解消	147
封筒封入および封かん部の紙詰まりの解消	150
蓄積エリアの紙詰まりの解消	153

## 蓄積ジョブ - エラーリカバリー

蓄積ジョブ中にインサーターが停止した場合は、次の手順を実行してください。

1. メニューの[Clear Deck(デッキクリア)]ボタンをタップします。
2. 封入エリアにある封筒はスタッカーに排出されます。フィーダーから、セットの残りのページを手で取り除きます。
3. 残りのページの折りを実行して封筒に封入します。
4. 停止の原因を特定したら、[Start(スタート)]ボタンをタップして、動作を再開します。



## 空のフィーダー – エラーリカバリー

フィーダーの材料を使い果たすと、インサーターは停止します。次の手順(ディスプレイにスクロール表示されます)に従ってください。

1. 空のトレイを補充します。
2. **[Start(スタート)]**ボタンをタップして続行します。

または

1. **[Stop(ストップ)]**ボタン、**[Clear Deck(デッキクリア)]**ボタンの順にタップします。
2. フィーダーを再度セットしてから、画面の指示に従って処理を続行します。



## OMR メッセージ – エラーリカバリー

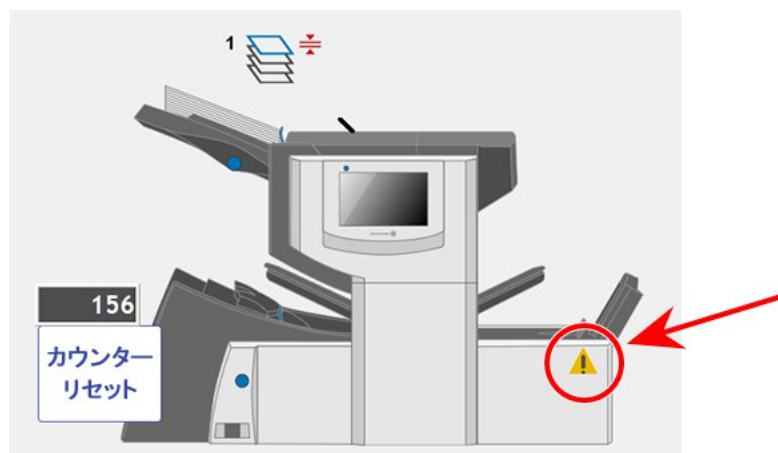
ジョブの途中でインサーターが停止し、OMR エラーメッセージが表示された場合は、次の手順を実行してください。

1. コントロールパネルで[Clear Deck(デッキクリア)]ボタンをタップします。封入エリアにあるすべての封筒はスタッカーに排出されます。
2. 現在のセットの残りのページはフィードおよび折りが実行され、スタッカーに排出されます。必要に応じて、手動で封入します。
3. 次のセットの最初のページがフィードローラーに事前フィードされ、停止します。シートを通常のフィード位置に引き戻します。
4. [Start(スタート)]ボタンをタップして、動作を再開させます。



## 書類の紙詰まりの解消

紙詰まりが発生した場合は、タッチスクリーンの表示で、詰まりが発生した場所を示す注意記号がインサーターモデル上で点滅します。



紙詰まりを物理的に解消した後、[Clear Deck(デッキクリア)]機能を使用してインサーターをクリアします。

---

注: マテリアルを取り除いた後、インサーターからページまたは封筒を取り除くように指示するメッセージが機械に表示されることがあります(このメッセージは、タッチスクリーン上でインサーターモデルの上にあるオプションおよびシステムメッセージエリアに表示されます)。すべての指示に従うまで、インサーターは稼働しません。

---

## シートフィーダーの紙詰まりの解消

1. シートフィーダートレイを取り外します。トレイの後部を少し持ち上げ、インサーターからまっすぐに引き出します。

トレイにマテリアルがセットされている場合は、トレイを取り外す際にマテリアルが前に滑り出ないように、マテリアルを軽く押さえます。



2. 詰まっているマテリアルを取り除きます。必要に応じて、[手動搬送つまみを使用](#)して、マテリアルを前方に送ります。

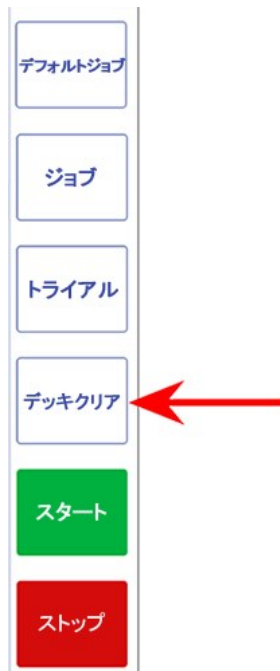
---

**注:** ページをシートフィーダーの方向へと後方に引っ張って機械から取り除くことは避けてください。より好ましいのは、マテリアルを前方に送って蓄積エリアから取り除くことでシートフィーダーの詰まりを解消するという方法です。

---

3. シートフィーダートレイを取り付け直します。
  - a. トレイをサイドフレームの位置ガイドに置きます。
  - b. トレイの後部を少し持ち上げ、インサーターに押し込みます。トレイは、自動的に正しい位置に収まります。

4. **[Clear Deck(デッキクリア)]**ボタンをタップして、用紙パスから残っているマテリアルを除去します。



5. **[Start(スタート)]**ボタンをタップして、動作を再開させます。



## 手動搬送つまみの使用

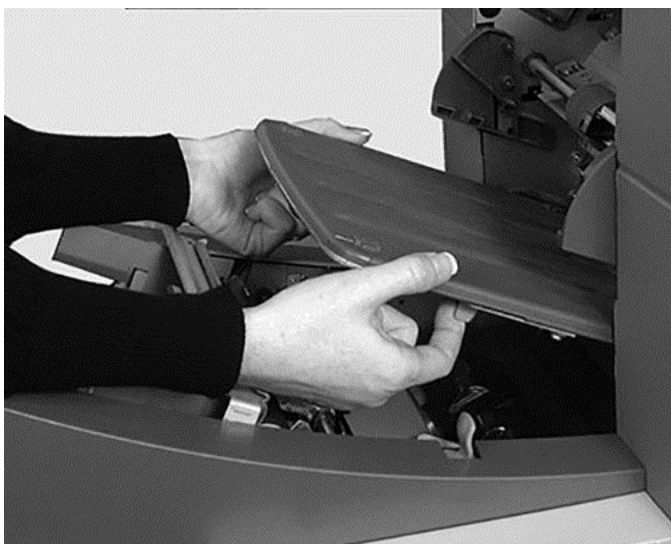
紙詰まりの場所を特定したら、手動搬送つまみを使用して、用紙をフィードローラーのグリップから手動で取り除く必要があります。

手動搬送つまみは、インサーターの左前面にあるドロップダウンカバーの後ろにあります。



## 紙折りプレートの紙詰まりの解消

1. 紙折りプレートを取り外します。
  - a. プレートの下にある2つの留め具を外側に引き出し、解放します。
  - b. プレートをインサーターからまっすぐに引き出します。



2. 詰まっている材料を取り除きます。必要に応じて、[手動搬送つまみ](#)を使用して、材料を前方に送ります。
3. 紙折りプレートを取り付け直します。
  - a. (プレートの下にある)2つの留め具を外側に引き出し、解放します。
  - b. プレートを位置ガイド内にスライドして留め具を解放し、プレートを所定の位置に固定します。

4. **Clear Deck(デッキクリア)**ボタンをタップして、用紙パスから残っているマテリアルを除去します。

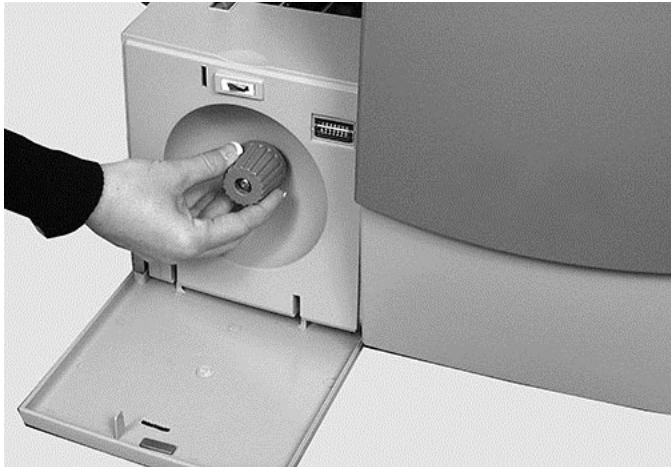


5. **Start(スタート)**ボタンをタップして、動作を再開させます。

## 手動搬送つまみの使用

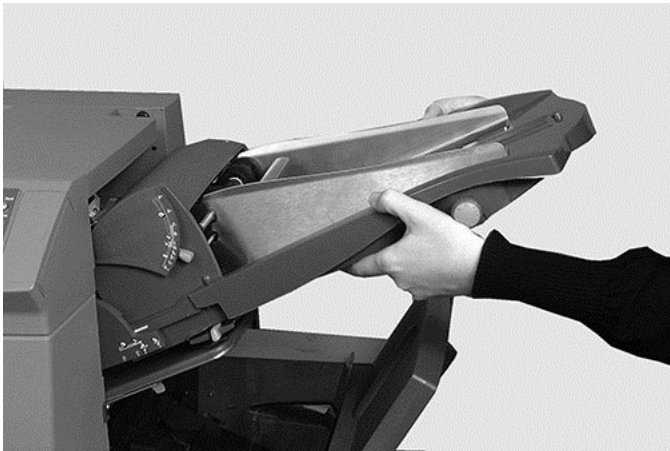
紙詰まりの場所を特定したら、手動搬送つまみを使用して、用紙をフィードローラーのグリップから手動で取り除く必要があります。

手動搬送つまみは、インサーターの左前面にあるドロップダウンカバーの後ろにあります。

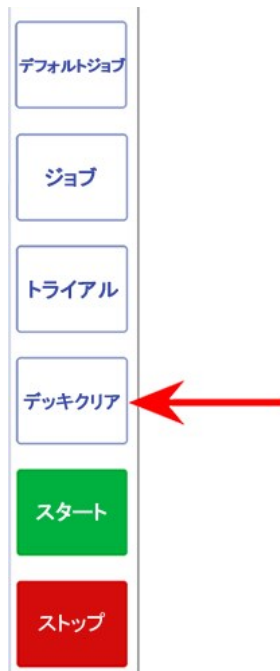


## インサートトレイの紙詰まりの解消

1. インサートトレイ-インサートトレイをインサーターからまっすぐに引き出します。
2. 詰まっているマテリアルを取り除きます。必要に応じて、**手動搬送つまみ**を使用して、マテリアルを前方に送ります。
3. **インサートトレイの交換**-トレイを位置ガイド内にスライドさせ、カチッと音がするまで押し込みます。



4. **Clear Deck(デッキクリア)**ボタンをタップして、用紙パスから残っているマテリアルを除去します。



5. **Start(スタート)**ボタンをタップして、動作を再開させます。

## 手動搬送つまみの使用

紙詰まりの場所を特定したら、手動搬送つまみを使用して、用紙をフィードローラーのグリップから手動で取り除く必要があります。

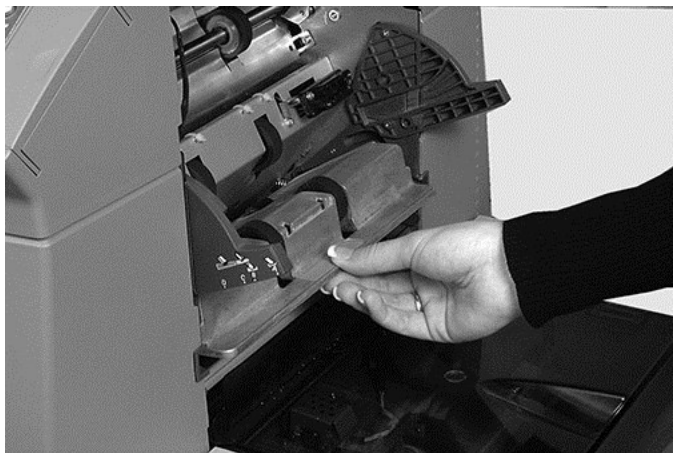
手動搬送つまみは、インサーターの左前面にあるドロップダウンカバーの後ろにあります。



## キャリッジアセンブリの紙詰まりの解消

デッキクリア機能で紙詰まりが解消されない場合は、以下の手順に従って紙詰まりを物理的に解消します。

1. インサートフィーダーを取り外します。
2. 紙折りプレート 2 を取り外します。
3. キャリッジアセンブリを取り外します。



4. 詰まっている材料を取り除きます。必要に応じて、[手動搬送つまみ](#)を使用して、材料を前方に送ります。
5. キャリッジアセンブリを取り付けます。



6. **Clear Deck(デッキクリア)**ボタンをタップして、用紙パスから残っているマテリアルを除去します。



7. **Start(スタート)**ボタンをタップして、動作を再開させます。

## 手動搬送つまみの使用

紙詰まりの場所を特定したら、手動搬送つまみを使用して、用紙をフィードローラーのグリップから手動で取り除く必要があります。

手動搬送つまみは、インサーターの左前面にあるドロップダウンカバーの後ろにあります。



## 封筒フィーダー一部の紙詰まりの解消

1. リリースレバーを矢印の方向に引きます。
2. 封筒エリアのフィードローラーを持ち上げて、紙詰まりの場所にアクセスします。



3. 詰まっているマテリアルを取り除きます。必要に応じて、**手動搬送つまみ**を使用して、マテリアルを後方に戻します。

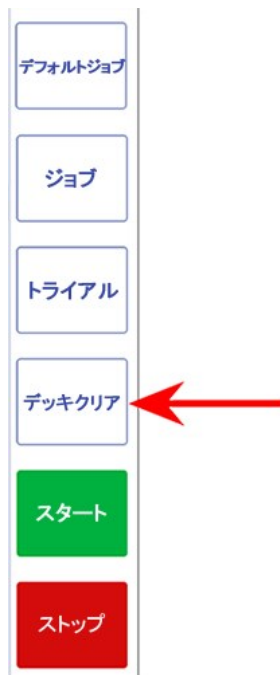
---

**注:** 封筒フィーダー一部の封筒詰まりは、目視での確認が難しい場合があります。封筒エリアのフィードローラーを持ち上げてから、注意しながらローラーの下に手を入れて詰まっているマテリアルがないか探ります。

---

4. 詰まりを取り除いた後、フィードローラーを元の場所に戻して固定するには、次の手順に従います。
5. 封筒エリアのフィードローラーから手を離すとローラーが元の場所に戻ります。
6. 所定の位置に収まるまで、ローラーをしっかりと下に押し込みます。

7. [Clear Deck(デッキクリア)]ボタンをタップして、用紙パスから残っているマテリアルを除去します。



8. [Start(スタート)]ボタンをタップして、動作を再開させます。

---

注: 紙折りプレート 1 およびシートフィーダー 2 を取り外すことで、このエリアにより簡単にアクセスできます。

---

## 手動搬送つまみの使用

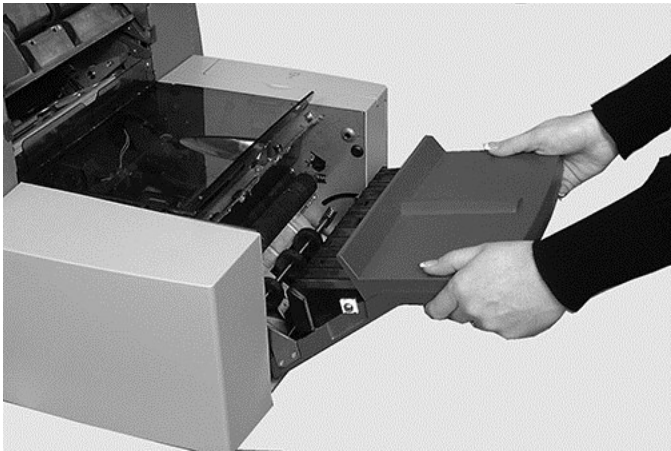
紙詰まりの場所を特定したら、手動搬送つまみを使用して、用紙をフィードローラーのグリップから手動で取り除く必要があります。

手動搬送つまみは、インサーターの左前面にあるドロップダウンカバーの後ろにあります。

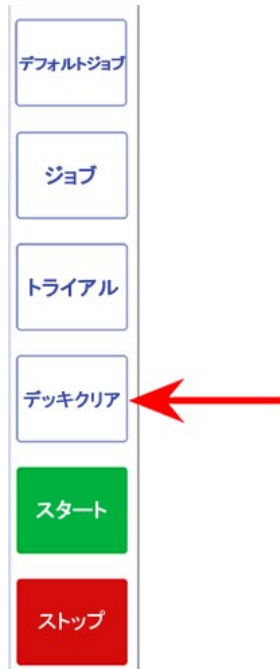


## 封筒出口部の紙詰まりの解消

1. 封筒インバーター(写真を参照)を引き下げて、紙詰まりの場所にアクセスします。
2. 詰まっている材料を取り除きます。必要に応じて、[手動搬送つまみ](#)を使用して、材料を前方に送ります。
3. 点検口を所定の位置に収まるようにしっかりと閉じます。



4. **Clear Deck(デッキクリア)**ボタンをタップして、用紙パスから残っているマテリアルを除去します。

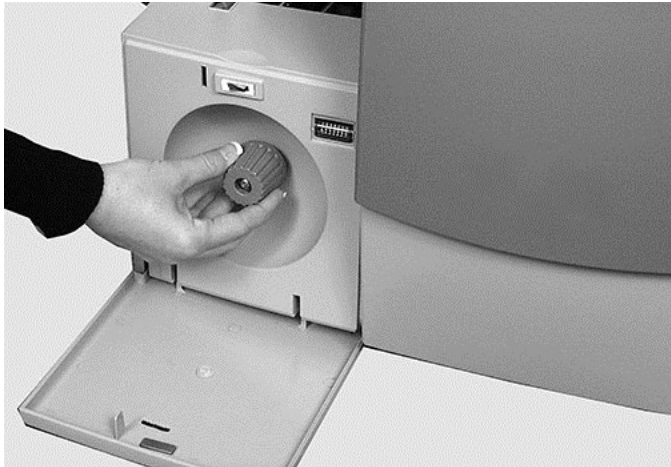


5. **Start(スタート)**ボタンをタップして、動作を再開させます。

## 手動搬送つまみの使用

紙詰まりの場所を特定したら、手動搬送つまみを使用して、用紙をフィードローラーのグリップから手動で取り除く必要があります。

手動搬送つまみは、インサーターの左前面にあるドロップダウンカバーの後ろにあります。



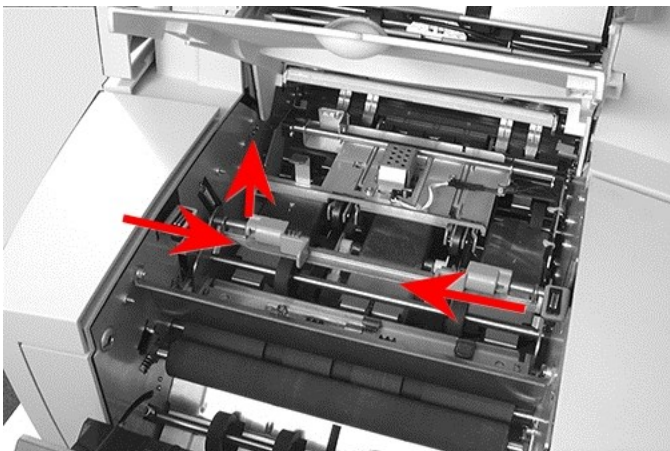


## 封筒封入および封かん部の紙詰まりの解消

1. 色の付いたプラスチックカバーを持ち上げて、封筒インバーターの点検口を引き下げます。

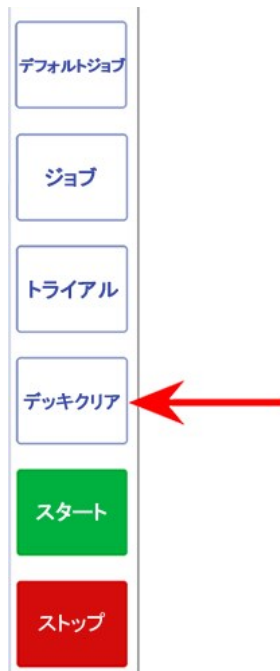


2. 次の写真で矢印が付いている部分の留め具を外し、詰まっているマテリアルを取り除けるようにします。



3. 詰まっているマテリアルを取り除きます。必要に応じて、**手動搬送つまみ**を使用して、マテリアルを前方に送ります。

4. **[Clear Deck(デッキクリア)]**ボタンをタップして、用紙パスから残っているマテリアルを除去します。



5. **[Start(スタート)]**ボタンをタップして、動作を再開させます。

## 手動搬送つまみの使用

紙詰まりの場所を特定したら、手動搬送つまみを使用して、用紙をフィードローラーのグリップから手動で取り除く必要があります。

手動搬送つまみは、インサーターの左前面にあるドロップダウンカバーの後ろにあります。



## 蓄積エリアの紙詰まりの解消

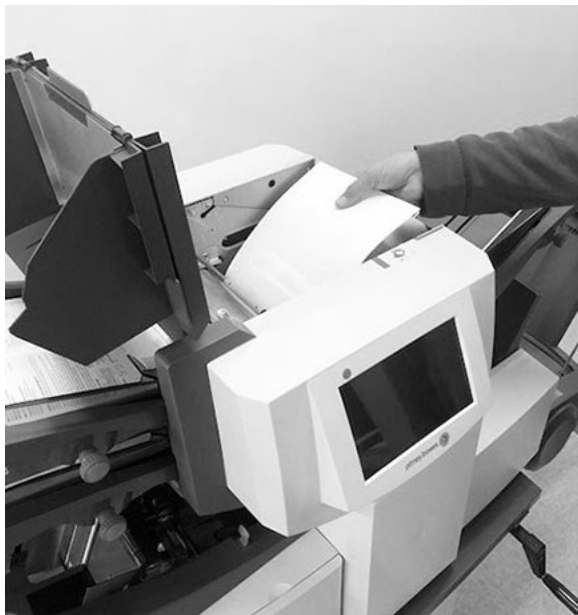
1. 青いタブをつかんで最初のカバーを持ち上げながら開けます。



2. 次の青いタブを持ち上げ、カバーを後ろに引きます。



3. 詰まっているマテリアルを蓄積エリアから取り除きます。

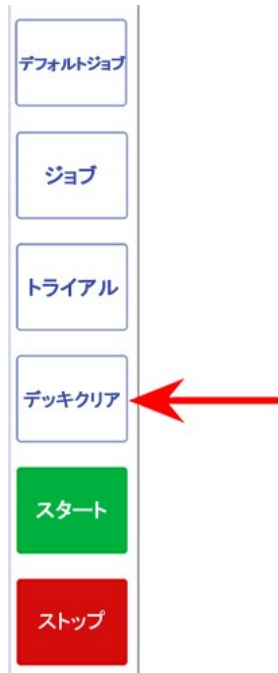


4. 青いハンドルの付いたガイドバーを引き上げて、用紙パスを露出させます。用紙パスにその時点で用紙がないことを確認します。



5. 青いハンドルを持ってガイドバーを元の位置に(カチッと音がするところまで)戻します。

6. 最上面のカバーをしっかりと閉じて、動作を再開できるようにします。
7. [Clear Deck(デッキクリア)]ボタンをタップして、用紙パスから残っているマテリアルを除去します。



8. [Start(スタート)]ボタンをタップして、動作を再開させます。

# 9 - レポート

## セクションの内容

---

レポートについて	158
スキャンジョブ用レポートの生成	159
ジョブの生産性レポートの生成	161



## レポートについて

Relay インサーターは、特定のジョブや個々の郵便物についての郵便物データを把握できるレポートを提供します。スキャンジョブのレポートとスキャン以外のジョブのレポートがあります。これらのレポートは、タッチスクリーンを使って、生成、表示、保存、または印刷できます。

---

**注:** レポートの印刷機能をご使用になる場合には、お客様の責任でタッチスクリーンをワイヤレスネットワークに接続してください。

---

## スキャンジョブ用レポートの生成

スキャンジョブのジョブ詳細情報を含むレポートには、マッチコード(郵便物 ID)、日付、時刻、オペレーター、スキャン数の予測および実測値、ステータス読み取り(OK または NOK)およびジョブ番号が記載されています。

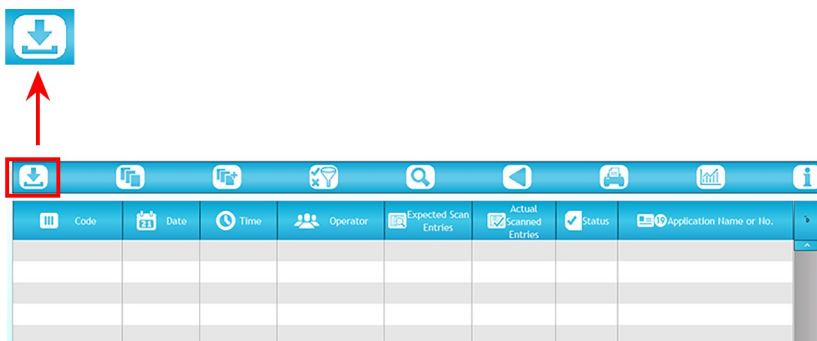
このタイプのレポートは、日付別に生成できます。現在の暦月に実行されたジョブのレポートには、カレンダー機能を使用してアクセスできます。現在の暦月以外に実行されたジョブのレポートには、アーカイブ済みレポートの手順に従ってアクセスできます。これらのレポートは、スキャンジョブでのみ参照できます。

### 現在の暦月に実行されたスキャンジョブのレポートを生成する

1. タッチスクリーンのデスクトップで[Report(レポート)]アイコンをダブルタップします。



2. 現在の暦月内の日付を選択するには、画面の上部にある[Open by date(日付別に開く)]アイコンをタップします。



3. 現在の暦月のカレンダーで日付を選択します。該当するスキャンジョブのジョブ詳細情報が画面に表示されます。

4. レポートを印刷または保存します。
  - a. 印刷アイコンをタップします。
  - b. [PDF]または[Word]をタップします。
  - c. 保存場所を参照し、レポートを保存します。

---

注: レポートの印刷機能をご使用になる場合には、お客様の責任でタッチスクリーンをワイヤレスネットワークに接続してください。

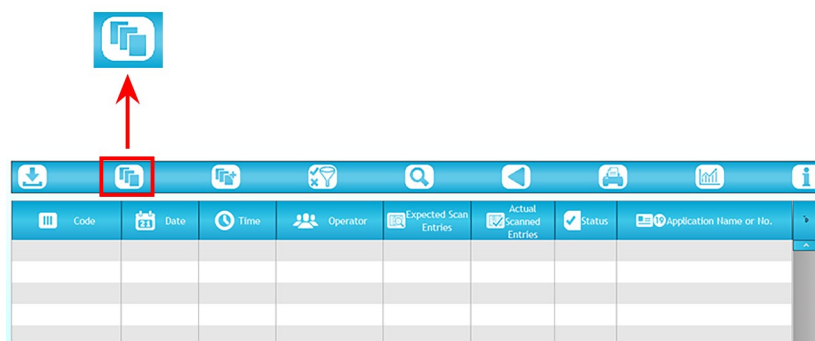
---

## 現在の暦月以外に実行されたスキャンジョブのレポートを生成する

1. タッチスクリーンのデスクトップで[Report(レポート)]アイコンをダブルタップします。



2. 現在の暦月以外の日付を選択するには、画面の上部にある[Open by File(ファイル別に関く)]アイコンをタップします。



3. 目的の .CSV ファイル (PITNEY/Inserter Control/Archiving ANR の下) を参照します。
4. そのファイルをハイライト表示にして[Open(開く)]をタップします。該当するスキャンジョブのジョブ詳細情報が画面に表示されます。

## ジョブの生産性レポートの生成

生産性レポートには、選択した日付に実行されたすべてのジョブのジョブサマリ情報が表示されます。生産性レポートには、スキャンジョブおよびスキャン以外のジョブの両方の情報が含まれます。

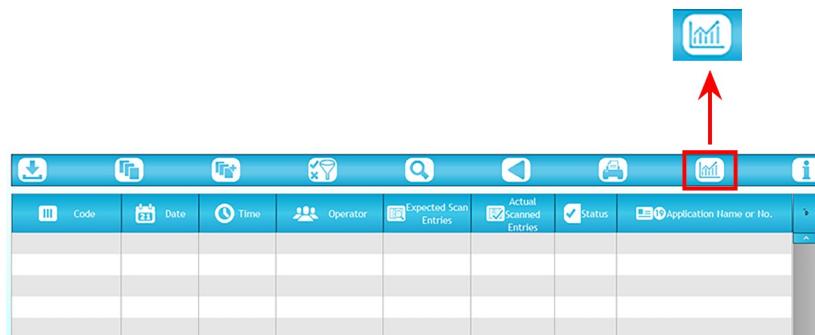
各レポートには、ジョブ名、オペレーター、開始および終了日時、ジョブ期間、折りタイプ、インサートモード、封筒の封かん、郵便物の数、平均速度、障害件数、停止回数が記載されます。

生産性レポートを生成するには、次の手順に従います。

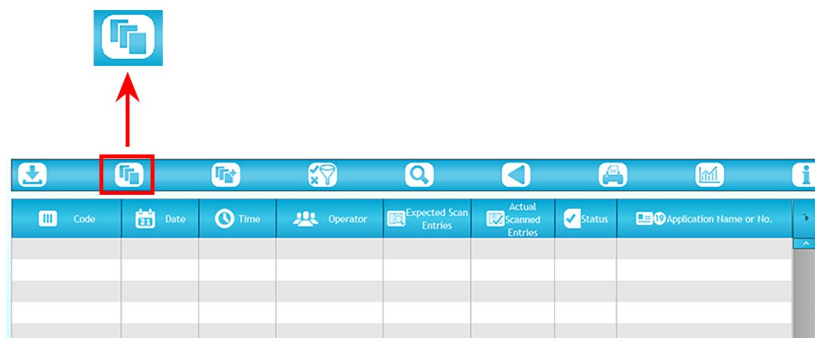
1. タッチスクリーンのデスクトップで[Report(レポート)]アイコンをダブルタップします。



2. 画面の上部にある[Statistics(統計値)]アイコンをタップします。



3. 画面の上部にある[Open by File(ファイル別に開く)](ページ)アイコンをタップします。



4. カレンダーが開いたら、日付をタップします。

生産性レポートが開き、その日に実行されたすべてのジョブのジョブサマリ情報が表示されます。

# 10 – トラブルシューティング

## セクションの内容

---

タッチスクリーンおよびインサーターの問題のトラブルシューティング	164
封筒に関する問題のトラブルシューティング	165
シートに関する問題のトラブルシューティング	166
インサートの問題のトラブルシューティング	167
二重検知の問題のトラブルシューティング	168
エラーメッセージ	169

## タッチスクリーンおよびインサーターの問題のトラブルシューティング

問題	原因	解決方法
画面に何も表示されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>• タブレットがスリープ状態です</li> <li>• 電源が入っていません</li> <li>• インサーターの電源がオンになっていません</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 青い電源ボタンを押して、タブレットを起動してください</li> <li>• 電源コードがしっかりと接続されており、壁コンセントが通電していることを確認してください</li> <li>• 電源スイッチをオンにしてください</li> </ul>
日付と時刻のみが表示されている	スクリーンセーバーがオンになっています	タブレットで上にスワイプして操作を再開してください
COM のオープンエラーまたは通信障害	電源コードが接続されていません	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 電源コードがしっかりと接続されており、壁コンセントが通電していることを確認してください</li> <li>• 電源スイッチをオンにしてください</li> </ul>
インサーターが動作しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>• カバーが開いています</li> <li>• フィードトレイまたは紙折りプレートが正しく取り付けられていません</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• すべてのカバーが閉じていることを確認してください。カバーの情報については、表示を確認してください</li> <li>• すべてのフィードトレイと紙折りプレートを取り外して、取り付け直してください</li> <li>• すべてのフィードトレイと紙折りプレートが正しく取り付けられていることを確認してください</li> </ul>
封入の問題	外封筒の内容物が正しく封入されていません	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">封筒のトラブルシューティング</a>情報を確認してください</li> <li>• マテリアルのサイズに合った正しい紙折りが選択されていることを確認してください</li> <li>• 重いマテリアルまたは軽いマテリアルを使用する場合は、封筒停止調整の変更が必要になることがあります</li> <li>• 封入するページ数が多い場合は、サービスの調整が必要になることがあります。</li> </ul>

## 封筒に関する問題のトラブルシューティング

問題	原因	解決方法
封筒がフィードできない	<ul style="list-style-type: none"> <li>封筒のサイドガイドが正しくセットされていません</li> <li>封筒の品質に問題があります</li> <li>封筒が正しくセットされていません</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガイドを封筒幅に合わせてセットし、1/4 周分戻します</li> <li>封筒が丸まっていないことを確認してください。新しい封筒を使用してください。セットする前にスタックをパラパラとめくってさばいてください</li> <li>封筒フラップ側を上向きに、フラップを最後にフィードしてください</li> </ul>
封筒が開けない	<ul style="list-style-type: none"> <li>封筒が正しくセットされていません</li> <li>封筒の品質に問題があります</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>封筒フラップ側を上向きに、フラップを最後にフィードしてください</li> <li>過度の湿気で封筒が互いにくっついていないことを確認してください</li> <li>新しい封筒を使用してください</li> </ul>
封筒の封かんの問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>封かん液がありません</li> <li>封かんモードが選択されていません</li> <li>封かんが不十分です</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>シーラーユニットを補充してください</li> <li>ジョブの設定を確認してください</li> <li>封かんモードを有効にしてください</li> <li>シーラーのフェルトの交換が必要な場合があります</li> </ul>



## シートに関する問題のトラブルシューティング

問題	原因	解決方法
シートがフィードできない	<ul style="list-style-type: none"> <li>フィードするフィーダーが選択されていません</li> <li>シートフィーダーのサイドガイドが正しくセットされていません</li> <li>シートが正しくセットされていません</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ジョブの設定を確認してください</li> <li>ガイドをシート幅に合わせてセットし、1/4 周分戻します</li> <li>使用するインサートのタイプに合わせて、2つのインサートフィーダーの調整(番号と文字の設定)が正しく行われていることを確認してください</li> </ul>
1枚のシートの代わりに複数のシートがフィードされている	<ul style="list-style-type: none"> <li>手動フィードモードが選択されています</li> <li>シートが正しくセットされていません</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ジョブの設定と手動フィードレバーの位置を確認してください</li> <li>セットする前にスタックをパラパラとめくってさばいてください</li> </ul>
封筒窓の不適切な位置に住所が配置される	<ul style="list-style-type: none"> <li>住所の記載されたシートが正しくセットされていません</li> <li>紙折りが正しくセットされていません</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>封筒窓から住所が見えるようにシートをセットしてください</li> <li>ジョブの設定を確認してください</li> </ul>
不適切な紙折り	<ul style="list-style-type: none"> <li>紙折りとミシン目の位置がほとんど重なっているために、箱折りまたは三つ折りになります</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>紙折りサイズを調整して、問題を解決してください</li> </ul>

## インサートの問題のトラブルシューティング

問題	原因	解決方法
インサートがフィードできない	<ul style="list-style-type: none"> <li>フィードするフィーダーが選択されていません</li> <li>インサートフィーダーのサイドガイドが正しくセットされていません</li> <li>インサートが正しくセットされていません</li> <li>インサートフィーダーのウェッジが正しく使用されていません</li> <li>インサートが仕様に適していません</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ジョブの設定を確認してください</li> <li>ガイドをシート幅に合わせてセットし、1/4 周分戻します</li> <li>使用するインサートのタイプに合わせて、2つのインサートフィーダーの調整(番号と文字設定)が正しく行われていることを確認してください</li> <li>セットする前にスタックをバラバラとめくってさばいてください。インサートスタックの向きを変更すると解決する場合があります</li> <li>ウェッジを下にスライドさせて、インサートスタックの後ろに移動して支えます</li> <li>このガイドで仕様を確認してください</li> </ul>

## 二重検知の問題のトラブルシューティング

問題	原因	解決方法
<p>インサーターが実際には発生していないダブルフィードのために停止するか、ダブルフィードが発生しても停止しない</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 二重検知機能がオンになっていません</li> <li>• 二重検知機能が正しく調整されていません</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 二重検知のステータスを確認してください。二重検知アイコンは、二重検知機能が使用可能なすべてのアイテムの横に表示されます</li> <li>• 封筒が丸まっていないことを確認してください。新しい封筒を使用してください。セットする前にスタックをパラパラとめくってさばいてください</li> <li>• 新しい用紙のバッチをセットした場合は必ずトリアルを実行し、二重検知機能を再調整してください。新しいバッチの厚みがわずかに異なっている場合があります</li> </ul>

## エラーメッセージ

メッセージ	
不正な OMR マークの太さ	OMR の仕様を確認し、必要に応じて印刷されているマーキングを調整してください
サービス担当者に連絡してください	インサーターの電源をオフにしてから、オンにしてください。それでもメッセージが表示される場合は、サービス担当者に連絡してください。
フィーダーを確認／クリアしてください	表示されたフィーダーは、マテリアルのフィードに失敗しました。フィードトレイからマテリアルを取り除き、再度セットしてからインサーターを再起動してください。
封筒フィーダー	<ul style="list-style-type: none"> <li>封筒が正しくセットされていることを確認してください</li> <li>封筒フィードローラーの下に封筒が詰まっていないことを確認してください</li> </ul>
紙折りプレートを確認してください	表示された紙折りプレートは、正しく取り付けられていません。紙折りプレートを取り外して、取り付け直してください。
インバーターを確認してください	封筒インバーターが正しい位置にセットされていません。 <ul style="list-style-type: none"> <li>インバーターカバーを開いて、マテリアルを確認してください</li> <li>カバーを閉めて、再起動してください</li> </ul>
最後の郵便物を確認してください	封筒が開けませんでした。 <ul style="list-style-type: none"> <li>封筒が正しくセットされていることを確認してください</li> <li>封筒をセットし直して、機器を再起動してください</li> </ul>
紙折りプレートをクリアしてください	画面に表示されている紙折りプレート内にマテリアルが検出されました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>紙折りプレートを除去し、マテリアルを確認してください</li> <li>紙折りプレートをセットします</li> </ul>

メッセージ	
封入エリアをクリアしてください	<p>用紙が封入エリアで検知されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• インサーター右側の色の付いたプラスチックカバーを開き、マテリアルを取り除いてください</li> <li>• 封筒フィーダーの紙詰まりアクセスレバーを使用して、フィードローラーの下に詰まった封筒がないか確認してください</li> <li>• カバーを閉じて、インサーターを再起動してください</li> </ul>
モイストナーをクリアしてください	<p>マテリアルがシーラーブラシエリアで検知されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 機器の左側の色の付いたプラスチックカバーを開き、マテリアルを取り除きます</li> <li>• カバーを閉じて、インサーターを再起動してください</li> </ul>
シーラーをクリアしてください	<p>マテリアルがシーラーブラシエリアで検知されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• インサーター左側の色の付いたプラスチックカバーを開き、マテリアルを取り除いてください</li> <li>• カバーを閉めて再起動してください</li> </ul>
カバーを閉めてください	<p>表示されたカバーが完全に閉まっていません。表示されたカバーを閉じて、インサーターを再起動してください。</p>
手動搬送カバーを閉めてください	<p>手動搬送つまみドアが完全に閉まっていません。ドアを閉じてください。</p>
巡回冗長検査エラー	<p>エラーのため、半分折り機能が使用できません。紙折りプレートを除去し、マテリアルを確認してください。</p>
ダブルフィード	<p>示されているフィードトレイでダブルフィードが検知されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• インサーターからマテリアルを取り除いて、再起動してください</li> <li>• それでもダブルフィードのエラーが表示される場合は、別のトライアルを要求してください。</li> </ul>

メッセージ	
ダブルフィードです、スタッカーを確認してください	<p>示されているフィードトレイでダブルフィードが検知されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スタッカーからダブルフィードされた用紙を取り除いてください</li> <li>インサーターを再起動してください。</li> </ul>
紙折りプレートがセットされていません	<p>紙折りプレートが正しい位置にセットされていません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>紙折りプレートを取り外し、マテリアルがないか確認してください</li> <li>紙折りプレートをセットして、再起動してください</li> </ul>
手動フィードがタイムアウトしました	<p>用紙フィードは、事前設定された時間内に検出されませんでした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>手動フィードモードでは、設定時間内にマテリアルをフィードする必要があります</li> <li><b>[Start(スタート)]</b>を押して、機械を再起動してください</li> </ul>
用紙の長さが足りません	<p>インサーターが、マテリアルが短すぎることを検知しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実際のマテリアルの長さが、表示される長さと一致しているか確認してください</li> <li>正しい場合、別のトライアルを要求してください</li> </ul>
用紙の長さが足りません、スタッカーを確認してください	<p>インサーターが、マテリアルが短すぎることを検知しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実際のマテリアルの長さが、表示される長さと一致しているか確認してください</li> <li>正しい場合、別のトライアルを要求してください</li> </ul>
レバーをセットしてください	<p>手動フィードレバーが実行しているモードに適した正しい位置にセットされていません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>手動フィードレバーを正しい位置に移動してください(左の位置:手動、右:自動)</li> </ul>
ストリームフィードです	<p>インサーターが、示されたフィードトレイで 2 枚のシートがフィードされたことを検知しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>インサーターからマテリアルを取り除いてください。シートをセットし直し、インサーターを再起動します</li> </ul>

メッセージ	
<p>ストリームフィードです、スタッカーを確認してください</p>	<p>インサーターが、示されたフィードトレイで 2 枚のシートがフィードされたことを検知しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• スタッカーからストリームフィードを取り除いてください。シートをセットし直し、インサーターを再起動します</li> </ul>
<p>システムエラーです、電源を切ってください</p>	<p>メインソフトウェアでエラーが検出されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• インサーターのスイッチをオフにして、再試行してください。問題が解決しない場合は、サービス担当者に連絡してください</li> </ul>
<p>トレイが空です</p>	<p>表示されたトレイにマテリアルがありません。トレイを再度セットしてから、<b>[Start(スタート)]</b>を押してください。</p>

# 11 – 仕様

## セクションの内容

---

マテリアルの仕様	174
インサーターの仕様	180



## マテリアルの仕様

すべての仕様は試験を行い、予告なしに変更される場合があります。

### 全般的なマテリアル要件

- 最高の性能を得るために、ピツニーボウズ推奨用紙のみを使用してください。
- 高品質を維持するために、用紙は適切な方法で保管してください。
- 推奨される保管条件：
  - 18° C (65° F) ~ 25° C (77° F)
  - 40% ~ 60% の相対湿度

### シートフィーダー

#### シートサイズ

	最小シートサイズ	最大シートサイズ
横	178 mm (7 インチ)	229 mm (9 インチ)
長さ	178 mm (7 インチ)	406 mm (16 インチ)

#### 用紙の重量

	最小	最大
非 OMR	70 gsm (18 ポンド)	120 gsm (32 ポンド)
OMR	70 gsm (18 ポンド)	120 gsm (32 ポンド)

### 折りの設定(紙折り前のマテリアルの長さ制限)

折りタイプ	計測値
二つ折り	150 mm(6 インチ)～ 314 mm(12 インチ)
C 折り	200 mm(8 インチ)～ 356 mm(14 インチ)
Z 折り	215 mm(8.5 インチ)～ 356 mm(14 インチ)
二重折り	270 mm(10.5 インチ)～ 406 mm(16 インチ)

### 二重文書検知用紙幅

最小	最大
70 gsm(18 ポンド)	120 gsm(32 ポンド)

### フィードトレイの容量

80 gsm(20 ポンド)用紙で最大 325 枚

### 手動フィードモード

手動フィード用途では、シートフィーダー 1 のみを使用し、必要に応じてインサートフィーダーを使用できません。

- インサーターは、最大 5 枚の 80 gsm(20 ポンド)の用紙セット(ホチキス留めあり)を、セットあたり最大総重量 400 gsm(100 ポンド)まで処理します。
- 折りおよび圧縮後の最大の厚みは、2 mm(0.078 インチ)を超えないようにしてください。
- 光沢紙や塗工紙の使用は推奨されません

## 折りタイプと厚み全体の制限

次の表に、それぞれの折りタイプで蓄積できる最大枚数を示します。

**重要！** これらの最大枚数を超えるジョブをプログラムしたり、OMRコード印刷および／または OMR 選択フィードで面付けを行ったりしないでください。

シート数	用紙の重量 (gsm / ポンド)		
	70 ~ 80 gsm (18 ~ 20 ポンド)	81 ~ 100 gsm (20 ~ 26 ポンド)	101 ~ 120 gsm (26 ~ 32 ポンド)
1	C、Z、S、D	C、Z、S、D	C、Z、S、D
2	C、Z、S、D	C、Z、S、D	C、Z、S
3	C、Z、S	C、Z、S	
4	C、Z、S		
5	C、Z、S		

折りタイプ: C=C 折り、Z=Z 折り、S=二つ折り、D=二重折り

### 注:

- 郵便の内容物が、使用可能な圧縮後の総厚みである 2 mm (0.078 インチ) を超えない限り、上記の枚数制限に加えて、補助フィーダーに 1 枚とインサートを 1 枚さらに追加できます。
- 二つ折りで 70 ~ 80 gsm (18 ~ 20 ポンド) の用紙のみを使用する場合、封筒には最大 10 枚のアイテムを入れることができます。この最大数には、補助フィーダーおよび／またはインサートフィーダーからの追加の枚数が含まれます。その場合も、圧縮後の総厚みの最大値である 2 mm (0.078 インチ) が適用されます。

## インサートフィーダー

### インサートサイズ

	最小インサートサイズ	最大インサートサイズ:
横	127 mm (5 インチ)	230 mm (9 インチ)
長さ	82 mm (3.25 インチ)	152 mm (6 インチ)

### 用紙の重量

	最小	最大
紙折りなしカットシート	75 gsm (20 ポンド)	180 gsm (50 ポンド)
二つ折り	75 gsm (20 ポンド)	180 gsm (50 ポンド)
折り加工済み書類	60 gsm (16 ポンド)	180 gsm (50 ポンド)
圧縮後の最大の厚みが 2 mm (0.078 インチ) までのインサート		

注: 折り済みインサートおよびシングルパネルインサートは、インサートフィーダーからフィードする必要があります

### 二重文書検知用紙幅

最小	最大
60 gsm (16 ポンド)	120 gsm (32 ポンド)

### フィードトレイの容量

- 最大 300 枚のインサート

## シーラー

- インサーターは、満杯の封かん液で最大 1,200 枚の封筒を封かことができます。
- 2 枚以上のシートに対するセーフシール

## スタッカー

- 封筒スタッカーには、内容物を挿入済みの最大 150 枚の封筒を積み重ねられます(この枚数は封筒サイズと内容物によって変化します)。

## 封筒フィーダー

### 最小封筒サイズ

- 縦: 88 mm (3.5 インチ)
- 横: 220 mm (8.5 インチ)

### 最大封筒サイズ

- 縦: 164 mm (6.5 インチ)
- 横: 242 mm (9.5 インチ)

### 封筒の重量

- 最小: 65 gsm (17 ポンド)
- 最大: 100 gsm (26 ポンド)

### 封筒トレイの容量

- 最大 300 枚の 90 gsm (24 ポンド) の封筒

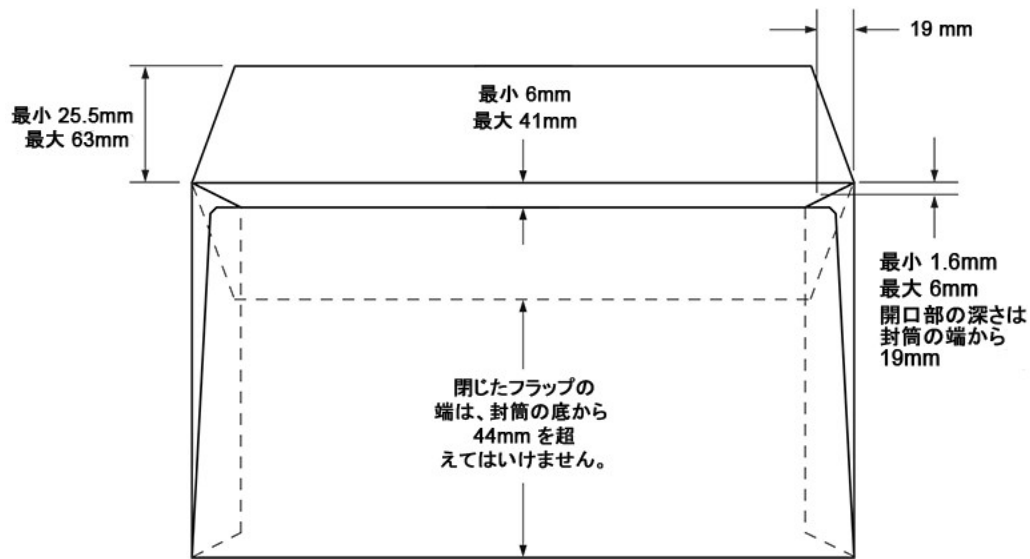
### 端の余白

- インサートと封筒間の端の余白 - 両端とも最小 6 mm (0.236 インチ)
- 合計 - 最小 12 mm (0.472 インチ)
- この計測値は、封筒に入れるすべてのドキュメントに適用されます

### 縦の余白

- インサート(紙折りなし) - 封筒に完全に挿入後、フラップの折り目の下に最小で 3 mm (0.118 インチ) の余白が必要となります。
- インサート(紙折りあり) - 封筒に完全に挿入後、フラップの折り目の下に最小で 6 mm (0.236 インチ) の余白が必要となります。

### 封筒のフラップと開口部の要件



## インサーターの仕様

### 物理的な寸法

- 長さ
  - 991 mm (39 インチ) 接地面
  - 1067 mm (42 インチ) 両端の距離
- 奥行 - 533 mm (21 インチ)
- 高さ - 635 mm (25 インチ)

### 重量

- 72 kg (158 ポンド)

### 騒音レベル

- 71 dBA (システム稼働中)

### 電気

- 米国およびカナダ : 120 V、60 Hz、6.0 A
- 欧州 : 220 / 240 V、50 Hz
- 日本 : 100 V、50 / 60 Hz

### サイクル速度

以下の速度は、インサーターの状態、オペレーターのス��ル、折りタイプ、マテリアルの品質によって変動します。

## 仕様

モデル	サイクル速度(1時間あたり)
Relay 2500	2,500
Relay 3500	3,000
Relay 4500	3,500

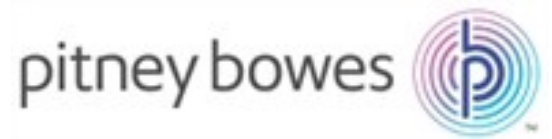


## フィーダー構成

モデル	シートフィーダー	インサートフィーダー	封筒フィーダー
Relay 2500	1	1	1
Relay 3500	2	1	1
Relay 4500	2	1	1(大容量)

## 折りオプション

モデル	折りタイプ
Relay 2500	二つ折り、C 折り、Z 折り、二重折り
Relay 3500	二つ折り、C 折り、Z 折り、二重折り
Relay 4500	二つ折り、C 折り、Z 折り、二重折り



3001 Summer Street  
Stamford, Connecticut 06926  
[www.pitneybowes.com](http://www.pitneybowes.com)

SV63298-JA 改訂版 B  
©2018 年 Pitney Bowes Inc.  
All Rights Reserved